

令和 6 年度当初予算(案) 事業等説明資料

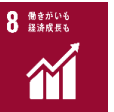


一般会計	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
特別会計	・ 公営企業会計	・・・・・・・・・・・・・・・・ P 33

京都府 宮津市

令和6年3月定例会

令和6年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	都市部等への情報発信力の強化～関係人口創出に向けた情報発信～ (関係人口・魅力・移住創出事業)	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	R4. 4: 「宮津市と株式会社FoundingBaseの包括連携に関する協定」を締結(関係人口創出、地域の魅力発信、移住定住の促進などを連携し協力して取り組むもの) R4. 5: 前尾記念クロスワークセンターMIYAZUの開設 R5. 4: 地域おこし協力隊を活用した暮らしや地域の魅力発信をスタート R5. 11: 地域と協働した「移住PR短編映画」の制作による地域情報の発信		6,712	645			6,000	67
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			7,500	国 繰入	デジタル田園都市国家構想交付金 子ども若者未来応援基金繰入金	645 6,000		
目的・目標	移住定住や関係人口創出に向けた「新しい人の流れの創出」を進めるため、本市の魅力発信を強化するとともに、「宮津ファンづくり」を進め、関係人口づくりにつなげるもの。		(参考)前々年度決算額					
			3,723					
事業概要	■ 地域ブランドプロモーションの取組み 6,090千円 関係人口の創出に向け、様々なチャンネルや機会を通じた地域ブランドプロモーションを展開し、「宮津を知ってもらう」機会を創出するもの 【実施内容】 ○ 人の暮らしや魅力ある特産品、事業者などの発信 ○ 地域の魅力発掘に向けた取組み など ■ ふるさと市民制度の創設【新規】 622千円 本市出身者や本市の来訪者等に「ふるさと市民」として登録してもらうとともに、定期的に情報発信を行うことで、交流やつながりを深め、「宮津ファンづくり」を進めるもの 【実施内容】 ○ 対象者 市出身者や市に関心、愛着のある市外在住者 ○ 登録方法 LINEセグメント配信への登録 ○ 発信内容 地域情報や地域イベント、参加可能な地域の取組み等 ○ その他 登録に向けたインセンティブとして、特典を付与		総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり				
			施策分野	関係人口創出・拡大 シティプロモーション 移住・定住促進				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			R3	宮津市空家空地対策計画(第2期)			R4～R13	
			期待される効果等	・関係人口の創出・拡大と若者の定着促進による地域の担い手の確保及び地域の活性化 ・都市部への情報発信強化等による移住者の呼び込み 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・地域や市内事業者等の課題解決に取り組む市外人材数 R元 44人 → R7 延べ300人 ・市公式HP(シティプロモーション)年間ビュー数 R元 - → R7 30万PV ・転出超過数の減少 R元 △63人/年 → R7 0人/年   				
担当部署	企画財政部 企画課 移住定住・魅力発信係			45-1609	1			

事業名	前尾記念クロスワークセンターMIYAZUを拠点にした関係人口創出 (関係人口・魅力・移住創出事業)	充実	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	R3.1: 都市部人材の活用に向け、副業プロ人材活用に係る中間支援組織「MIYAZU未来デザインセンター」を設立		16,500	4,130	5,990			6,380	
	R4.4: 「宮津市と株式会社FoundingBaseの包括連携に関する協定」を締結(関係人口創出、地域の魅力発信、移住定住の促進などを連携し協力して取り組むもの)		(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
	R4.5: 前尾記念クロスワークセンターMIYAZUの開設		19,000	国	デジタル田園都市国家構想交付金			4,130	
目的・目標	「前尾記念クロスワークセンターMIYAZU」を核として、宮津に「来てもらう」「交流してもらう」「関わってもらう」等の仕掛けづくりを実施することで、地域をより深く知ってもらう取組を進め、「交流人口」を「関係人口」につなげるもの。		(参考)前々年度決算額	府	きょうと地域連携交付金			5,990	
			31,541						
		総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト						
事業概要	<p>■ 前尾記念クロスワークセンターMIYAZUの運営 14,000千円 都市と地域の「交流の場づくり」などを展開し、関係人口づくりを実施するもの</p> <p>【主な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 都市と地域との交流やチャレンジの場の創出 地域内外の様々なヒトが集い、繋がり、「コトを起こす=共創」をキーワードに、都市と地域の「交流の場づくり」などの展開 ○ 関係人口づくりに向けたツアー等の実施 地域をより深く知ってもらうためのツアーやイベント等を実施 ○ サテライトオフィス入居企業との連携 サテライトオフィス入居企業と地域事業者等との連携の更なる推進 <p>■ 関係人口づくりに向けたみやづ城東タウンC棟の試行的活用【新規】500千円 みやづ城東タウンC棟について、「大学連携の推進」や「関係人口づくり」などでの滞在拠点として試行的に活用し、今後の活用に向けた調査を行うもの</p> <div style="text-align: center;"> <p>大学生関係人口 → みやづ城東タウン(C棟) → 市内でのフィールドワーク等 / 地域との交流等</p> </div> <p>■ MIYAZU未来デザインセンターの外部人材活用事業の支援 2,000千円 地元企業の経営力等の向上を図るため、都市部人材を活用するとともに、関係人口づくりにつなげるもの</p>	テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり						
		施策分野	関係人口創出・拡大 シティプロモーション 移住・定住促進						
		【宮津市総合計画以外の計画】							
		R3	宮津市空家空地対策計画(第2期)					R4~R13	
		期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口の創出・拡大と若者の定着促進による地域の担い手の確保及び地域の活性化 ・都市部への情報発信強化等による移住者の呼び込み <p>【第7次宮津市総合計画数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や市内事業者等の課題解決に取り組む市外人材数 R元 44人 → R7 延べ300人 ・転出超過数の減少 R元 △63人/年 → R7 0人/年 						
		担当部署	企画財政部 企画課 移住定住・魅力発信係					45-1609	2

令和6年3月定例会

令和6年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	移住コンシェルジュの設置、東京圏からの新しい人の流れの創出等 (関係人口・魅力・移住創出事業)	充実	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	R4.4:「宮津市と株式会社FoundingBaseの包括連携に関する協定」を締結(関係人口創出、地域の魅力発信、移住定住の促進などを連携し協力して取り組むもの) R4.5:前尾記念クロスワークセンターMIYAZUの開設 R5.4:東京圏からの移住創出に向けた「移住支援金」の創設 R5.7:総合的な移住相談等に向けた「移住コンシェルジュ」の設置		9,500	1,350	1,500		6,100	550
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	移住希望者に対する様々な相談への対応や案内などを行うとともに、移住者が地域に溶け込むためのフォローや地域との連携を進めることで、「関係人口」を「移住・定住」につなげ、「選ばれるまち」づくりを推進するもの。 また、移住支援金の実施により東京圏から本市への移住の流れを創出するもの。		8,500	国 府 繰入	デジタル田園都市国家構想交付金 地方創生移住支援事業費補助金 子ども若者未来応援基金繰入金			1,350 1,500 6,100
			(参考)前々年度決算額	2,239	総計重要プロジェクト 若者が住みたいまちづくりプロジェクト			
事業概要	<p>■ 移住コンシェルジュサービスの実施 7,500千円 関係人口を移住定住につなげるため、総合的な移住相談や移住前後のフォロー等を実施する「移住コンシェルジュサービス」を実施するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 設置場所 前尾記念クロスワークセンターMIYAZU ○ 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・移住希望者に対する情報発信、イベント等の実施 ・移住に対する様々な相談対応、案内の実施 ・地域との連携、地域情報の集約・発信 など <p>【参考】 空き家バンク制度の充実について 移住コンシェルジュによる物件案内の充実及び移住希望者の選択肢の拡大に向け、空き家バンクに「民間不動産物件」の掲載をスタートし、掲載物件数の充実を図る。</p> <p style="text-align: center;">(現 状) (今回の拡充) 空き家バンク掲載物件 市管理物件 → 市管理物件 + 民間不動産物件</p> <p>■ 都市部からの移住創出に向けた支援【拡充】 2,000千円 都市部からの新しい人の流れを作るため、東京圏からの移住創出に向けて、京都府の取組に合わせた移住支援金(テレワーク移住)を実施するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 対象者 東京23区に5年以上住所を有していた者 等 ○ 条 件 市内に移住し、京都府知事の指定する事業所に新たに就業 等 ○ 支援額 <ul style="list-style-type: none"> ・基本額:100万円/世帯(単身世帯の場合は60万円/世帯) ・加算額:子ども(18歳未満)1人当たり100万円加算 		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり				
			施策分野	関係人口創出・拡大 シティプロモーション 移住・定住促進				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			R3	宮津市空家空地対策計画(第2期)			R4~R13	
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口の創出・拡大と若者の定着促進による地域の担い手の確保及び地域の活性化 ・都市部への情報発信強化等による移住者の呼び込み <p>【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・転出超過数の減少 R元 △63人/年 → R7 0人/年</p>				
			担当部署	企画財政部 企画課 移住定住・魅力発信係			45-1609	



事業名	子育て応援！パパママのゆとり時間応援事業 (地域子育て支援事業・民間保育園運営事業・認定こども園運営事業)	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	・H29.11：子育て支援センター「にっこりあ」開設、利用者支援事業を開始 ・R2～：ファミリー・サポート・センター事業の預かり場所として「にっこりあ」を利用開始、乳児親子向け事業「赤ちゃんひろば」を開始 ・R3～：「にっこりあ」facebookの運用開始、オンライン子育て相談を開始 ・R4.11～：「にっこりあ」で託児サービスを試行実施		4,272	1,423	1,423		1,410	16
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	子育て中の保護者の負担を軽減し、ゆとりや息抜き時間を確保することにより、余裕をもって育児ができる環境を提供するため、子育て支援の拠点施設「にっこりあ」において、「託児サービス」を本格実施する。また、民間保育施設で実施している「一時預かり事業」の利用料の一部を無償化することにより、最寄りの保育施設においても気軽に託児が出来る体制を整える。		2,550	国	子ども・子育て支援交付金			1,423
			(参考)前年度決算額	府	子ども・子育て支援交付金			1,423
事業概要	■子育て支援センター「にっこりあ」での「託児サービス」 2,915千円 利用者ニーズを踏まえ、令和4年度から試行してきた「にっこりあ」での託児サービスを本格実施するもの。 【内容】 ○対象：宮津市在住の就学前児童（主に未就園児） ○日時：月・火・水・金曜の午前9時30分～午後3時30分 1回3時間まで（初回は2時間まで） ○定員：同時間当たり3名程度 ○利用料：無料 ■民間保育施設での一時預かりサービス（一部無償化）【新規】 1,357千円 民間保育施設（保育園・認定こども園）で実施する一時預かり事業の利用料を3時間まで無償とするもの。 【内容】 ○対象：宮津市在住の未就園児 ○日時：月曜～土曜の午前8時～午後4時頃（土曜や園行事等に伴う変更あり） ○定員：各施設1日当たり2名程度 ○利用料：1日当たり3時間まで無料（3時間を超える場合は1時間につき400円） ※一時預かり事業は週3日（計24時間）まで利用可		2,131	繰入	子ども若者未来応援基金繰入金			1,410
			総計重点プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
事業概要			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり				
			施策分野	子育て支援				
事業概要			【宮津市総合計画以外の計画】					
			R元	第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画			R2～R6	
事業概要			期待される効果等	・子育ての負担を軽減し、心身ともに余裕をもって育児ができる環境の充実を図る。 【にっこりあ託児サービス[数値目標]】 ・利用の有無 あり 57%→100% ・今後の利用希望 利用したい 90%→100% 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・市の子育て環境や支援に対する満足度（普通～満足度が高いと回答した割合） H30 就学前69.1% → R5 74.0% 小学生61.2% 66.0%				
			担当部署	健康福祉部社会福祉課 子育て支援係		45-1621		10



令和6年3月定例会

令和6年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	多子世帯子育て支援給付金事業	新規	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> 国が「物価・賃金・生活総合対策本部」会議にて追加の原油価格・物価高騰対策を決定 (R5. 3. 22) 令和5年度9月補正予算において、物価高騰に係る市独自施策として「多子世帯子育て支援給付金事業」を計上し、同10月より給付 令和5年12月22日に、国が「こども未来戦略」を閣議決定し、児童手当の拡充が決定 		26,300				26,300	0
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	<p>物価高騰等の影響が続く中、大きく影響を受けている多子世帯への支援及び、国の少子化対策の柱である経済的支援の強化の観点から、令和6年10月分からの児童手当の制度拡充の一部を市独自事業として前倒し実施し、子育て世帯の経済的負担の軽減及び子育て環境の充実を図る。</p>		29,500	繰入	子ども若者未来応援基金繰入金			26,300
			(参考)前々年度決算額					
事業概要	<p>■多子世帯子育て支援給付金 26,300千円</p> <p>【支給対象児童】 中学生から令和6年8月31日までに生まれた第3子以降の児童 ・対象児童(見込)：223人(0歳～小学生192人、中学生等31人) ※支給基準日は児童手当と同様</p> <p>【支給額(月額)】 ・0歳～小学生 15,000円 ・中学生等 20,000円～30,000円 ※支給額は、上限3万円と現行児童手当との差額を支給</p> <p>【申請要否】 ○申請不要(プッシュ型支給)：宮津市の児童手当支給対象者 ○申請必要：公務員世帯の児童等</p> <p>【支給時期】 ・6月・10月(原則として児童手当支給月の同月)に各4ヶ月分ずつ 計8ヶ月分(令和6年2月分～9月分)を支給</p> <p>【その他】 令和6年10月分以降は国の児童手当拡充にシフト (9月分までの独自支援を行うもの)</p> <p>[参考]R5年度事業の支給見込額 (R5. 6月分～R6. 1月分) 27,810千円 ●宮津市の児童手当支給対象者：152世帯・児童185人 支給額 23,190,000円 ●公務員世帯の児童等：30世帯・児童36人 支給額 4,620,000円</p>	総計重点プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト					
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり				
事業概要				施策分野	子育て支援			
				【宮津市総合計画以外の計画】				
事業概要				R元	第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画	R2～R6		
事業概要				期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> 家計への支援を行うことにより、物価高騰等に直面する多子世帯の経済的負担を軽減する。 子育て世帯を経済的に支援することで、子育て環境の充実を図る。 			
					  			
事業概要				担当部署	健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係	45-1621	12	

事業名	物価高騰下での給食費高騰対策支援 (給食費高騰対策支援事業、学校給食運営事業、保育所運営事業)	継続	予算額	財源内訳																													
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源																									
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> 全国消費者物価指数(食料)前年同月比(R5.9月~12月平均)7.9%増 R5.12:主食(米)価格改定(5円/kg増) 4月:8.4% 5月:8.6% 6月:8.4% 7月:8.8% 8月:8.6% 9月:9.0% 10月:8.6% 11月:7.3% 12月:6.7% ⇒4箇月平均7.9%増 給食用以外の牛乳の販売価格(R5.11月全国平均)対前年度比10%増 R5 給食費高騰支援の実施(R4の保護者負担額を据置き、差分を公費負担) ※公立保育所についてはR5に料金改定実施 (地方創生臨時交付金・子どもの給食臨時支援事業費補助金(府)を活用) R5.12:宮津市学校給食委員会食材調達部会を開催し、給食費の値上げを協議 		7,851	7,851				0																									
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳																													
			3,983	国	地方創生臨時交付金			7,851																									
			(参考)前々年度決算額																														
目的・目標	急激な物価高騰により給食食材費の高騰が続く中、小中学校、就学前施設の給食費について、保護者負担の増加を軽減するため、給食費の物価高騰に係る増額分の緊急支援を行う。		総計重要プロジェクト	—																													
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり																													
事業概要	<p>■民間保育園、認定こども園、自校給食実施校への支援 1,232千円</p> <p>○支援内容:物価高騰による給食費の増額改定を実施した施設の園児、児童分を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育園給食:民間保育園・認定こども園・認可外保育施設 500円/月 学校給食:自校給食実施校 40円/食 <p>○対象期間:令和6年4月~令和7年3月</p> <p>○参考:給食費の状況(民間保育園及び認定こども園の場合) (R4保護者負担額) (物価高騰による給食費値上げ必要額)</p> <p style="text-align: center;">6,000円/月 → 6,500円/月 (+500円) ※支援額</p> <p>■公立保育所、センター方式給食の公立幼稚園・小・中学校への支援 6,619千円</p> <p>○支援内容:給食費の増額改定における、物価高騰による部分を支援 ※給食費の実質の徴収額を抑制し支援する</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th></th> <th>(R4保護者負担額)</th> <th>(料金改正後)</th> <th>(R6据置額)</th> <th>(支援額)</th> </tr> <tr> <td>・保育所</td> <td>5,000円/月</td> <td>→ 6,500円/月</td> <td>【6,000円/月】</td> <td>+500円/月</td> </tr> <tr> <td>・幼稚園</td> <td>180円/食</td> <td>→ 210円/食</td> <td>【180円/食】</td> <td>+30円/食</td> </tr> <tr> <td>・小学校</td> <td>250円/食</td> <td>→ 290円/食</td> <td>【250円/食】</td> <td>+40円/食</td> </tr> <tr> <td>・中学校</td> <td>290円/食</td> <td>→ 340円/食</td> <td>【290円/食】</td> <td>+50円/食</td> </tr> </table> <p>※公立保育所のみR5に料金改定実施(5,000円/月→6,500円/月)</p> <p>※給食費については、国・府の補助金等の支援策を今後も注視するとともに、府内の自治体及び市民所得の動向も踏まえ、令和7年度から段階的に保護者負担を求めていくことを検討</p>		(R4保護者負担額)	(料金改正後)	(R6据置額)	(支援額)	・保育所	5,000円/月	→ 6,500円/月	【6,000円/月】	+500円/月	・幼稚園	180円/食	→ 210円/食	【180円/食】	+30円/食	・小学校	250円/食	→ 290円/食	【250円/食】	+40円/食	・中学校	290円/食	→ 340円/食	【290円/食】	+50円/食		施策分野	子育て支援				
			(R4保護者負担額)	(料金改正後)	(R6据置額)	(支援額)																											
		・保育所	5,000円/月	→ 6,500円/月	【6,000円/月】	+500円/月																											
		・幼稚園	180円/食	→ 210円/食	【180円/食】	+30円/食																											
		・小学校	250円/食	→ 290円/食	【250円/食】	+40円/食																											
		・中学校	290円/食	→ 340円/食	【290円/食】	+50円/食																											
【宮津市総合計画以外の計画】																																	
R元	第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画					R2~R6																											
期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> 物価高騰等により値上げが想定される就学前施設の給食費相当を支援することにより、保護者負担の増加を抑制し、安心して給食が提供できる環境を維持する。 急激な物価高騰の影響下にあっても、学校給食において現行の保護者負担額で、必要な栄養価や量などの質を保った一汁三菜の手作りの学校給食を引き続き提供することができる。 																																
担当部署	社会福祉課 学校教育課	子育て支援係 学校給食・施設係	45-1621 45-1662	16																													

令和6年3月定例会

令和6年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	「国際感覚豊かな人づくり」に向けた 姉妹都市との学生訪問団交流（国際交流推進事業）	充実	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	【宮津市の姉妹友好都市】 ・ネルソン市（ニュージーランド）※昭和51年提携 ・デルレイビーチ市（アメリカ）※昭和52年提携 ・秦皇島市（中国）※昭和62年提携		4,755				4,300	455	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			—	繰入	子ども若者未来応援基金繰入金			4,300	
			(参考)前々年度決算額						
			—						
目的・目標	多様な文化に対する理解を深める機会を提供し、国際感覚豊かな青少年の育成及び子育て・教育環境の充実を図る。		総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト					
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり					
事業概要	■国際感覚豊かな人づくり 4,755千円 ・姉妹都市ネルソン市への中学生、高校生訪問団派遣 4,330千円【新規】 市内在住中学生、高校生とネルソン市ホストファミリーとの交流 ※英語教育の充実を図るため、今回より派遣対象に中学生を追加 ・姉妹都市デルレイビーチ市からの高校生等訪問団の受入れ 425千円 デルレイビーチ在住高校生、大学生と宮津市ホストファミリーとの交流		施策分野	地域コミュニティ					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			期待される効果等	国際的な視野を持った青少年の育成 中学生、高校生英語力の向上 多文化共生社会の実現					
	 <p>ネルソン市への高校生訪問団派遣</p>	 <p>デルレイビーチ市からの高校生訪問団受入れ</p>							
			担当部署	総務部 総務課 総務秘書係			45-1604	18	



令和6年3月定例会

令和6年度当初予算 事業等説明資料



(単位:千円)

事業名	子ども・子育て支援推進事業 (子ども・子育て支援推進事業、一般職員人件費)	継続	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	・H30.4：保育所保育指針、幼稚園教育要領、認定こども園教育・保育要領の改定施行 ・R3～：福祉・教育総合プラザ内に保育コーディネーターを配置 ・R4～：保育・教育の質向上のための研修会、就学前施設長による保育サービス拡充・適正化研究会の開催 ・R5～：全就学前施設において紙おむつ・おしりふきの無償提供を開始		13,879	508	1,749		1,700	9,922
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	子育て世帯に「選ばれるまち」となるため、市全体の保育・教育の質やサービスの向上を図るとともに、特色ある保育・教育の実現に向け、保育サービスの更なる拡充や規模等の適正化について調査・研究を行う。		15,125	国	子ども・子育て支援体制整備総合推進事業補助金			459
			(参考)前々年度決算額	国	子ども・子育て支援交付金			49
			10,134	府	子ども・子育て支援交付金			49
			府	きょうと地域連携交付金			1,700	
			繰入	子ども若者未来応援基金繰入金			1,700	
事業概要	■全就学前施設における紙おむつ等無償提供サービス 3,400千円 保育所(園)、認定こども園、幼稚園における紙おむつ及びおしりふきの無償提供サービスの展開 ■保育・教育の質向上及び保育サービス拡充のための研修・研究会の開催 989千円 ○「保育・教育の『環境』の重要性とその整備」をテーマとした全体研修会(講演会)及び施設訪問による現場指導の実施 ※全就学前施設職員と小学校教員等を対象 ○保育ニーズの多様化をふまえた保育サービスの拡充等に係る調査研究 ※就学前施設長を対象 ■子ども子育て支援事業計画の策定及び就学前施設のあり方検討 694千円 ○子ども・子育て会議の運営 ○第3期宮津市子ども・子育て支援事業計画の策定 ○有識者を交えた出生数減少に伴う就学前施設のあり方検討 ■幼児教育・保育サポート事業 8,796千円 ○保育コーディネーターの配置(保育士1名) ・就学前施設間の交流や巡回サポート ・幼児教育・保育の質的向上 ・小学校への円滑な接続 ○子育て短期支援事業(ショートステイ)等		総計重点プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり				
			施策分野	子育て支援				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			R2	第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画			R2～R6	
			期待される効果等	・幼児期の教育・保育サービスの充実 【就学前施設の利用に係る満足度調査[数値目標]】 ・紙おむつ・おしりふき無償提供サービスについて ・就学前施設の利用全般について 満足・比較的満足の割合 100% 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・市の子育て環境や支援に対する満足度(普通～満足度が高いと回答した割合) H30 就学前69.1% → R5 74.0% 小学生61.2% 66.0%				
			担当部署	健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係		45-1621		28

令和6年3月定例会

令和6年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)



事業名	宮津の新たな学び創造事業 ～明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成～	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R2.4: 小中一貫教育の全面実施、コミュニティ・スクールの本格導入 ・R3.3: 宮津市教育大綱・教育振興基本計画 (R3～R7) 策定 宮津市学力向上プラン (R3～R7) 策定 宮津市立小中学校において、1人1台ICT端末環境整備が完了 ・R5.4～: コミュニケーション教育の試行開始 中学校におけるオールイングリッシュ授業の開始 		9,290	2,200	1,659		5,016	415
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			6,433	国	公立学校情報機器整備費補助金		1,181	
				国	子どもの学習・生活支援事業費補助金		1,019	
			(参考)前々年度決算額	府	子どもの教育のための総合交付金		1,659	
	5,864	繰入	教育基金繰入金		4,400			
		諸	家庭学習用通信費負担金		616			
目 的 目 標	「明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成」を目指して、「質の高い学力・たくましい身体の育成と教育環境の充実」「夢や志、豊かな感性を持った人づくり」「地域と一体となった学校づくり」を推進する。	総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト					
		テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり					
事 業 概 要	<p>■論理的思考力や表現力、非認知能力の育成 2,394千円</p> <p>○コミュニケーション教育の推進 1,269千円【拡充】</p> <p>演劇的手法を活用したワークショップ授業を通してコミュニケーション能力の基礎を培い非認知能力の育成・向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間3回のワークショップ型・双方向型のアクティブラーニングの実践 (対象:宮津小学校6年生、宮津中学校1年生) <p>○語学力向上に向けた取組 1,125千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校におけるオールイングリッシュ授業(選択英語)の実施 英語の「聞くこと」「話すこと」を中心とした英語教育の実施により国際化に向けた質の高い教育を目指す ・「日本漢字能力検定」の活用(小4・小6での全員受検に係る検定料全額補助) ・「英語検定」の活用(中1・中3での全員受検に係る検定料全額補助) <p>■学習における基礎・基本の徹底 2,039千円</p> <p>○算数学び定着サポーターの配置</p> <p>小学校算数科における3・4年生児童への学力定着と向上を図る</p> <p>■ICTを活用した学習意欲の喚起、個別最適な学びと協働的な学びの実現 4,857千円</p> <p>○ICT端末の利用環境の充実(1人1台整備)による授業改善</p> <p>授業支援ツールやAIドリルを活用した個別最適な学びやプログラミング教育等の実施、ICT活用に係る実践研究など</p>	施策分野	学校教育					
			【宮津市総合計画以外の計画】					
		R元	第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画	R2～R6				
		R2	宮津市教育大綱・教育基本振興計画	R3～R7				
		R2	宮津市学力向上プラン	R3～R7				
		期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・10年間を見通した連続性・一貫性がある教育課程の展開と保幼小中高の連携強化 ・質の高い学力の充実・向上(基礎・基本の徹底、論理的思考力や表現力の育成、ICTを活用した学習意欲の喚起と個別最適な学びの実現) <p>【第7次宮津市総合計画目標数値】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査における教科に関する調査(算数・数学)の平均正答率 R元:小6 62.0、中3 62.0 →R7:全国平均・京都府平均以上 					
			 					
		担当部署	教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係		45-1641		30	




事業名	農山漁村コミュニティ活性化事業	充実	予算額	財源内訳						
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源		
背景・経緯	H24 農業の担い手不足等の地域課題を解決するために「人・農地プラン」策定を開始 H29 農地利用最適化推進委員が配置され、プラン策定を推進 R元 人・農地プラン実質化の取組開始（アンケートや地図を用いた話合いの推進） R4.5 基盤法等の改正法が成立（「人・農地プラン」が「地域計画」として法定化し、「目標地図」の作成等が義務付け） R5.4～ 「地域計画」策定の取組開始（法施行（R7.4）前2年間で作成が必要）		3,252		1,526			1,726		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳						
			2,705	府	農業振興事業費補助金		400			
				府	京のむらづくり推進事業補助金		1,126			
			(参考)前々年度決算額							
			1,683							
目的・目標	農業の担い手が減少する中、生産者が効率的に営農できるよう、将来目指すべき姿を明確化する「地域計画」を集落ごとに策定し、農地の集積・集約を進めるとともに、新規就農を支援する体制を強化し、新たな担い手の呼び込みを図る。		総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト						
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり						
事業概要	■市全域での地域計画の策定 2,652千円 ◆集落支援員の配置（1名） 地図の作成、地域内での話合いや農地の利用調整などを支援 ■新たな担い手受入れのための体制構築を支援 400千円 地域での新たな担い手の確保に向け、話合いや情報発信、世話人の配置など受入体制の構築に向けた取組を支援 ◆取組例 ・農村の紹介書（集落概要、小作料、共同利用機械の有無、利用可能な農地など、新規就農者を受け入れるための情報を取りまとめたもの）の作成 ・就農者の相談に乗る世話人の配置や受入の取組 など ◆補助率 ・定額（1地域当たり上限50千円） ■新たな担い手確保のための支援体制を強化【新規】 200千円（隊員募集経費） 新規就農者の呼び込みや補助制度の案内、地域とのマッチング等を行う支援体制を構築 ◆地域おこし協力隊による支援体制の強化（活動内容予定） ・経営指標、栽培指導者、農地確保など就農に必要な要素（就農パッケージ）をまとめて支援する体制づくり ・新たな担い手の受入体制構築に取り組む地域等と連携した「半農半Xインターンシップ事業（農業体験、地域交流プログラム等）」の実施 など		施策分野	農林水産業振興						
			【宮津市総合計画以外の計画】							
			期待される効果等	・担い手への農地の集積・集約化 ・遊休農地の発生防止・解消 ・新規参入の促進 ・農村集落の活性化 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・耕作放棄地の面積 R元:426ha → R7:426ha ・新規就業者数(農業・漁業) R元:2人/年 → R7:3人/年						
			担当部署	産業経済部 農林水産課 農林水産係 農業委員会事務局					45-1626 45-1645	33

令和6年3月定例会

令和6年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	まちづくり応援事業	充実	予算額	財 源 内 訳						
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・地域会議：H19より各地区で地域会議設置。現在全14地区で地域会議設立。各地区の特色に応じ、様々なまちづくり活動を展開 ・移住特区：R4年度末までに8地区が移住特区に認定され、活動中 ※地域会議以外で取り組む移住促進の取組への継続的な支援はない状況 ・まちづくり補助金：H20のふるさと寄附税制、市民3大プロジェクトを契機に、まちづくり補助金を創設。以降、コミュニティ助成金等とともに多くの市民活動を支援 		20,201				18,500	1,701		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳						
			13,400	繰入	まちづくり基金繰入金		4,600			
			(参考)前々年度決算額	寄附	まちづくり基金寄附金		2,000			
目的・目標	地域住民等により組織される団体等が実施する地域課題の解決やまちづくり活動を支援することで、市民による地域課題の解決やまちづくり活動を活発化するとともに活動の継続につなげ、市民と行政の共創によるまちづくりを推進する。		7,189	諸	コミュニティ助成金		11,900			
			総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト						
事業概要	<p>■地域活性化・まちづくり活動支援【拡充】 2,100千円 地域会議又は移住特区取組主体が、移住促進を意識した上で実施する地域課題の解決に向けた取組を支援 ※自治連等による移住促進の取組も支援できるよう、対象団体に移住特区取組主体を追加 ◇対象：地域会議又は移住特区取組主体のどちらか一方 ◇補助率：10/10、上限150千円</p> <p>■まちづくり補助金 4,500千円 ○通常タイプ 2,500千円 非営利団体等が取り組むまちづくり活動を支援 ◇対象者：市民団体等(営利団体は含まない) ◇補助率：1/2、上限1,000千円</p> <p>○ふるさと納税型クラウドファンディングタイプ【新規】 2,000千円 まちづくりにつながるプロジェクトに対し、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングにより広く寄付を募り、集まった寄付金を活用して地域の課題解決等に向けた取組を支援 ※「ふるさとを応援したい」という想いを具体的なプロジェクトで募ることで、新しい資金調達手法を確保するとともに、共創のまちづくりにつなげていくもの ◇対象者：市民団体等(営利団体も含む) ◇補助率：寄付額の70%</p> <p>■コミュニティ助成事業 11,900千円 (一財)自治総合センターの助成制度を活用し、自治会のコミュニティ活動を支援</p> <p>■地域課題解決型地域おこし協力隊の配置 1,701千円</p>		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり						
			施策分野	市民協働						
			【宮津市総合計画以外の計画】							
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けたまちづくり活動の活発化 ・市民によるまちづくり活動・地域活動の拡大 ・地域コミュニティのより一層の充実 <p>【第7次総合計画数値目標】 地域おこし協力隊や大学等と連携し課題解決に取り組む地域・団体数 R元 4地域・団体 ⇒ R7 8地域・団体 (3大学) (5大学) (-) (3地域おこし協力隊)</p>						
			担当部署	企画財政部 企画課 企画政策係		45-1664		34		
			 							

事業名	高校・大学・地域連携推進事業	充実	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	・H28～：次世代人材育成事業の展開 (市内の高校と連携し、生徒がしごと等に対して向き合う講座などを支援し、将来のみやづを担う人材育成を図るもの) ・R元～：大学等地域活動連携推進事業(大学・地域連携プロジェクト)の展開 (大学からの提案による地域団体と協働事業を支援し、宮津市域での大学のフィールドワーク等の受入れを強化して、地域課題の解決を図るもの) ・R4.5:「前尾記念クロスワークセンターMIYAZU」の開設 (京都府立大学がサテライトオフィスを設置し、連携に向けた調整や大学生等の滞在拠点づくりを実施) ・R5.5:「宮津市内高等学校・宮津市連携推進会議」の設置 (市内の高校と市の連携事業を円滑に推進するために窓口を一本化)		5,283				5,200	83	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			2,100	繰入	子ども若者未来応援基金繰入金			5,200	
			(参考)前々年度決算額						
目的・目標	市内の高校と関係機関との連携事業実施にあたり、「宮津市内高等学校・宮津市連携推進会議」を中心に高校と大学等との連携を強化し、本市への人の流れをつくり、高校の魅力向上につなげるとともに、将来のみやづを担う人材育成を図る。また、大学との連携による地域の課題解決に向けた取組を推進する。		総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト					
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり					
事業概要	■みやづの高校魅力向上プロジェクトの展開 4,283千円 ○高校－大学連携コーディネーター(仮称)の配置 1,300千円【新規】 市内高等学校の大学等との連携による教育活動等の充実を支援するため、大学等との連携を行うコーディネーターを配置するもの 配置人材の想定：高校、大学双方の分野に精通した学識者等 ○高校－地域連携コーディネーター(仮称)の配置 2,883千円【新規】 市内高等学校の地域等との連携による協働活動を支援するため、高校生の地域での活動等に寄り添うコーディネーターを配置するもの 配置人材の想定：市内高校の探究活動において地域との連携実績のある事業者等 ○市内高校と事業者等との連携による課題解決型の人材育成 100千円 市内高等学校と連携し、生徒が地域の課題解決や仕事等に対して向き合う講座などを支援することで、次代を担う人材を育成するもの ■大学・地域連携プロジェクトの展開 1,000千円 大学と地域との連携による課題解決に向けた取組活動への支援		施策分野	関係人口創出・拡大、市民協働、社会教育					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			期待される効果等	・市内の高校の魅力向上と次世代の人材育成 ・関係人口の創出・拡大と若者の定着促進による地域の担い手の確保及び地域の活性化 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・地域や市内事業者等の課題解決に取り組む市外人材数 R元 44人 → R7 延べ300人 ・地域おこし協力隊や大学等と連携し課題解決に取り組む地域・団体数 R元 4地域・団体 → R7 8地域・団体 (3大学) (5大学) (－) (3地域おこし協力隊)					
			担当部署	企画財政部 企画課 移住定住・魅力発信係 教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係		45-1609	45-1642	35	
			  						

令和6年3月定例会

令和6年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

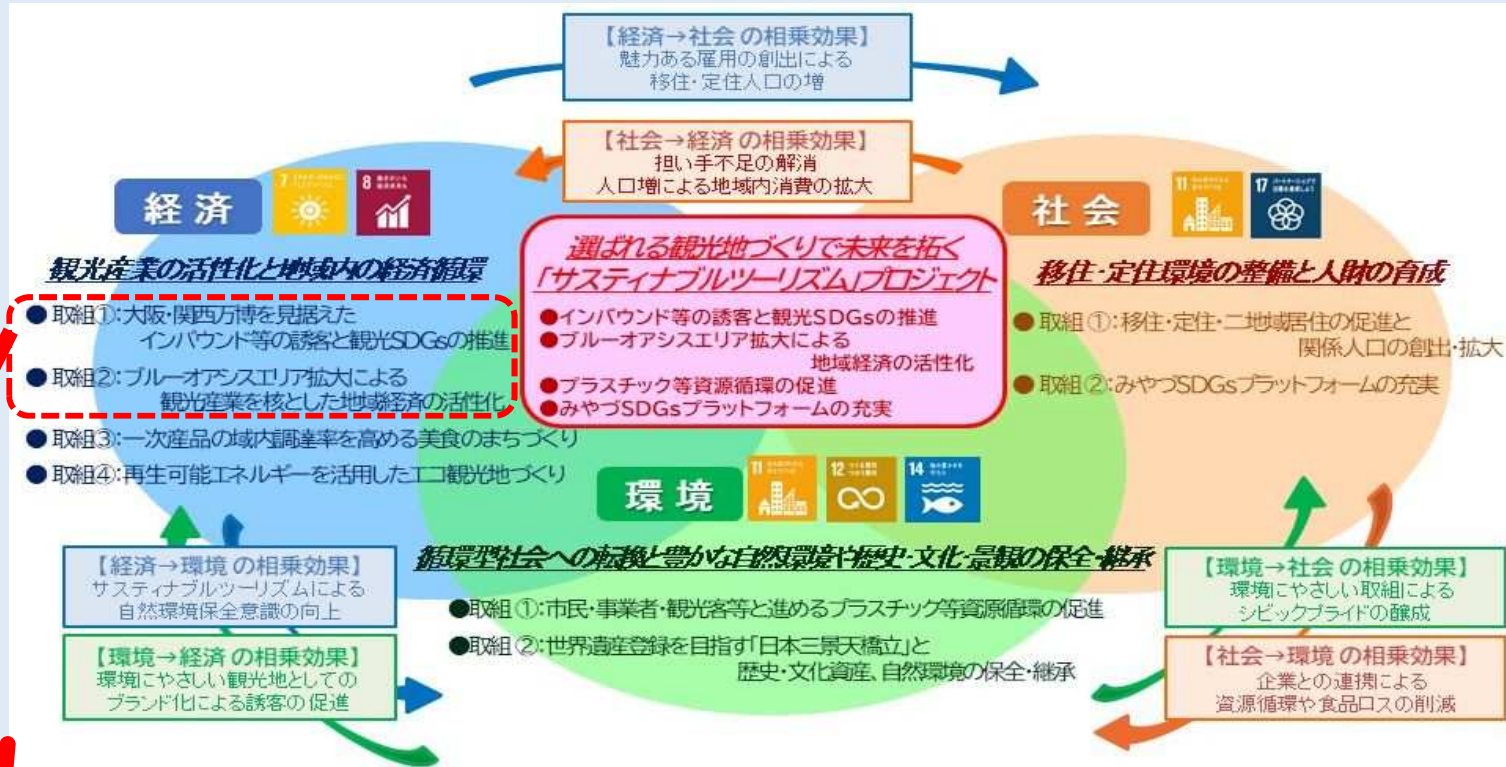
事業名	大阪・関西万博きょうとの力創出・発信事業	充実	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R4.12 : 大阪・関西万博きょうと基本構想検討会 設置 (京都府) ・R5.5 : 大阪・関西万博きょうと推進委員会 設置 (京都府) ・R7.4~10 : 大阪・関西万博の開催予定 		9,500	4,750		4,600	150		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			3,000	国 繰入	デジタル田園都市国家構想交付金 繰入	4,750	4,400		
目的・目標	<p>令和7年度に開催される「大阪・関西万博」を絶好の機会と捉え、本市が誇る産業、歴史・文化、観光資源などの魅力や、それを未来につなげるための取組を国内外に強くアピールし、シビックプライドの醸成につなげるとともに、観光誘客等による地域活性化を推進するもの。</p>		(参考)前々年度決算額	繰入	教育基金繰入金	200			
			—						
			総計重要プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト					
事業概要	<p>■大阪・関西万博に向けた機運醸成（プレイベント等の実施） 7,900千円 大阪・関西万博が掲げるメインテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を体現するとともに、各サブテーマに沿ったイベント等をカウントダウン形式で実施することにより、2025年の開催に向けた機運醸成を図る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《サブテーマ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Saving Lives (いのちを救う) 脱炭素、海、山、世界自然遺産 など ・Empowering Lives (いのちに力を与える) ナイトライフ、ファームツアー、ガストロノミー、和食 など ・Connecting Lives (いのちをつなぐ) 文化体験、伝統行事、音楽、遺跡・歴史的建造物 など </div> <p>◎万博250日前プレイベント [Saving Lives (いのちを救う)] ・宮津田井海まちフェスタの開催 (※SDGsフェスタと同時開催予定) ・万博スペシャルサポーター 帆船「BLUE OCEAN みらいへ」、特務艇「はしだて」の寄港等 ・天橋立砂浜ライトアップの実施支援 [Empowering Lives (いのちに力を与える)] ・みやづBay花火の開催支援</p> <p>◎万博150日前プレイベント [Connecting Lives (いのちをつなぐ)] ・日本遺産北前船フォーラム&北前船物産展の開催 ・歴史資料館 特別開館&企画展示「宮津城下町と北前船」の開催 ・宮津市街地ライトアップ (和火) の実施支援</p> <p>◎その他プレイベント [Saving Lives (いのちを救う)] ・成相寺ライトアップの実施支援</p> <p>■大阪・関西万博を契機とした関係人口づくりの強化 1,600千円 ・万博会場向けプロモーション動画の制作 ・英語版総合パンフレットの作成 ・「宮津・人流の港」づくりに向けた勉強会 ・みなとオアシスの拡充と他港との連携</p>		テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり					
			施策分野	観光振興、海の活用、文化財保存・活用					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			R3	宮津市観光戦略				R3~R7	
			R3	宮津市教育大綱・教育振興基本計画				R3~R7	
			期待される効果等	・大阪・関西万博を契機とした観光誘客施策の推進による地域経済の振興 ・宮津湾における新たなにぎわい創出による地域の活性化 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・観光交流人口 R元:321万人⇒R7:325万人 ・栗田半島を中心とした周辺臨海エリア入込客数 R元:46.2万人⇒R7:46.8万人 ・外国人観光宿泊客数 R元:5.4万人⇒R7:10.0万人 ・観光消費額 R元:109億円⇒R7:125億円 ・観光宿泊客数 R元:64.9万人⇒R7:70.0万人					
			担当部署	企画財政部企画課文化スポーツ振興係 産業経済部商工観光課観光係 教育委員会事務局社会教育課社会教育係		45-1718 45-1625 45-1642	38		



万博を通じた宮津市の取組の全体像（位置付け・概念図）①

◆SDGsパッケージ（未来都市計画）

日本三景天橋立のあるまち宮津の未来へつなぐチャレンジ～SDGsな観光地づくり、若者から選ばれるまちづくり、資源循環の促進～



◇万博パッケージ

「大阪・関西万博きょうとの力創出・発信事業」

【万博を契機とした取組の大きな流れ】

<R6>
R7の万博パビリオンブース出展に向けて、地域での機運醸成

「次の年行くぞ、万博！」



<R7>
万博パビリオンブース出展をフックとした交流人口・関係人口の本市への流れを作る

「行くぞ、万博！」



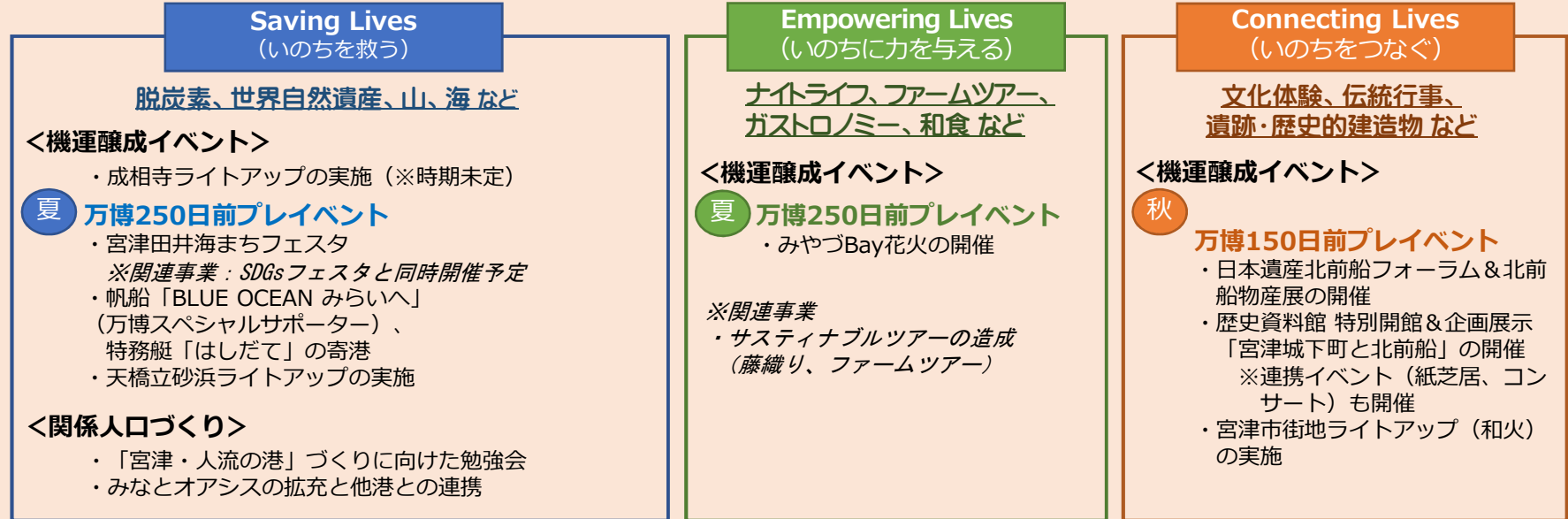
<R8>
万博を契機につながった関係性を継続（本市へ継続して来訪してもらえる流れを作る）

「万博レガシーを地域へ！」

万博を通じた宮津市の取組の全体像(位置付け・概念図)②

◇万博パッケージ

【R6取組内容】万博のサブテーマに沿った取組を行い、R7の万博開催に向けた機運醸成と万博を契機とした関係人口づくりの強化を図る。



<その他イベントではない万博関連事業>

- 万博会場向けプロモーション動画の制作 / 英語版総合パンフレットの作成

次年度のパビリオンブース出展や万博終了後も含めた京都府北部への誘客を促す仕組みを、民間等とも連携して作っていく。

地域活性化、関係人口、移住・定住人口の拡大

持続的なまちの実現へ

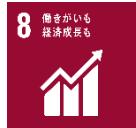

事業名	美食のまちづくり推進事業	充実	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	・H25.2:学校法人大和学園・宮津市連携協定を締結 (連携事項:人材育成 観光振興 料理、土産物開発 食育の推進等) ・R 4.5:学校法人大和学園が前尾記念クロスワークセンターMIYAZUへの入居 (市民、市内企業及びクロスワークセンター入居企業等との連携促進)		4,700		2,350		2,300	50
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	宮津市内の飲食産業の活性化を図るため、新たな市場へのチャレンジの誘導と意欲醸成を推進する。また、宮津市観光戦略に基づき「食(食材or料理)の質向上と高付加価値化による飲食率・宿泊率の向上」を図るとともに、食の魅力を観光業のみならず農林水産業、製造業等の幅広い分野を支える大きな産業につなげていく“美食のまちづくり”に向けた取組みを進める。		4,500	府 繰入	丹後半島振興広域連携促進事業費補助金 まちづくり基金繰入金		2,350 2,300	
			(参考)前々年度決算額					
事業概要	■飲食産業活性化推進事業 3,450千円 宮津市内の飲食産業等の活性化に繋がる取組みを実施するもの。 【取組内容】 ・ 学生レストランの実施 大和学園の学生による市内産食材を活用したレストランの実施 ・ アドバイザー派遣事業【充実】 指導を希望する事業者到大和学園講師をアドバイザーとして派遣 (拡充)従前の商品改良に加え、効果検証まで行う戦略アドバイス型を設定 ・ 飲食産業活性化に向けた実証等【新規】 飲食を提供しない宿泊施設の増加等を背景に飲食店舗不足の声がある中、これを本市のビジネスチャンスと捉え、飲食産業の活性化に向けた取組み実証を行い、市内での飲食店出店課題の明確化や出店意欲の拡大に繋げるもの (内容) ・観光繁忙時期に対応したキッチンカーの常設等による飲食提供の試行 ・事業者や学校法人大和学園の学生等とのワークショップ開催等 ■宮津の食を中心とした誘客推進事業【新規】 1,250千円 地域の食の魅力を活かした観光誘客に繋がる取組みを実施するもの。 【取組内容】 ・ 宮津の食文化に触れる「ガストロノミーツーリズム」の企画、販売 「学生レストラン」の営業に併せ大和学園旅行学科学生によるモニターツアーの企画、販売を実施 ・ 「宮津ぶらりラボ」サイトのコンテンツ内容の充実 宮津市内における数々の観光資源、食や食文化の見える化及び魅力再発見につなげるべく制作した「宮津ぶらりラボ」サイトのコンテンツ内容の充実 (大和学園連携事業を深堀する記事の作成及び掲載)		総計重要プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト				
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり				
				施策分野	商工業振興、観光振興			
				【宮津市総合計画以外の計画】				
			R3	宮津市観光戦略			R3~R7	
				期待される効果等	・一人あたり観光消費額の向上 【第7次総合計画数値目標】 ・観光交流人口 R元:321万人→R7:325万人 ・観光宿泊者数 R元:64.9万人→R7:70.0万人 ・外国人観光宿泊客数 R元:5.4万人→R7:10.0万人 ・観光消費額 R元:109億円→R7:125億円 【観光戦略KPI】 ・顧客満足度(大変満足) R3:33%→R7:40%			
				担当部署	産業経済部 商工観光課 商工係・観光係		45-1663 45-1625	42

令和6年3月定例会

令和6年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	魅力ある商いづくり事業	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 経 緯	・ R02. 12: 信金中央金庫創立70周年記念事業『地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」』の寄附対象事業として選定 ・ R3～R5: 地方創生推進スキームを活用したチャレンジおうえん補助金を実施次代を担う若手人材のマインドセットやネットワーク形成の場として「未来天橋塾」を開催		17,263	3,550			13,600	113
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
目 的 目 標	地域経済の活性化に向け、関係機関と連携して市内事業者の新たなチャレンジ等を応援するとともに、ふるさと納税を活用した支援制度の導入により、事業者の新たな資金調達手段の確保や市場評価を導入するなど、事業者の状況に応じた様々な支援を行うことで、起業者の増加や事業者の経営強化につなげていくもの。		13,963	国 繰入	デジタル田園都市国家構想交付金 まちづくり基金繰入金			3,550 3,500
			(参考)前々年度決算額	寄附	まちづくり基金寄附金			10,100
事 業 要 概	<p>■宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト事業【充実】 11,100千円 市内における事業者の新たなチャレンジを応援する体制、制度を整備。</p> <p>①未来天橋塾の開催【充実】 1,000千円 令和3年度から実施してきた「未来天橋塾」の次なるステージとして、事業プランのブラッシュアップ等を加えたカリキュラム提供により事業者のチャレンジを応援</p> <p>②ふるさと納税型クラウドファンディング活用事業補助金の創設【新規】 10,100千円 事業者のチャレンジに対し、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングにより広く寄付を募り、集まった寄付金を活用して地場産品の開発等や創業、事業拡大等を支援</p> <p>(1) ふるさと納税返礼品開発支援 ふるさと納税返礼品の新規開発や生産拡大等を支援（補助額：寄付金額の40%） ※ 別途、ふるさと納税返礼品の購入（寄付金額の30%以下）により、事業者の収益に寄与</p> <p>(2) 事業者のチャレンジ支援 創業や継業、事業の拡大等、幅広いチャレンジを支援（補助額：寄付金額の70%）</p> <p>■創業等支援事業補助金 4,000千円 比較的小規模な創業、第二創業等を支援（施設整備、広告費等） ・補助率1/2 上限50万円（空き店舗活用は100万円）</p> <p>■DX対応支援補助金 1,000千円 業務効率化に向けたシステム導入やキャッシュレス対応等に係る経費を支援 ・補助率1/2 上限10万円</p> <p>■商工業振興事業（産業フェスタ）の実施支援 600千円</p> <p>■補助金チラシ作成、申請窓口設置ほか事務費 563千円</p>		総計重要プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト				
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり				
			施策分野	商工業振興、人材づくり				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			期待される効果等	創業・第二創業等に新たにに取り組む事業者の推進による地域経済の活性化 ・新たな土産物開発や新規出店による観光消費額の拡大 ・地元産品のブランド化、高付加価値化 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・創業・第二創業件数 70件/5年 ・製造品出荷額等 R元:95.5億円→R6:100億円 ・小売業販売額 H28:185.4億円→R8:190億円				
			担当部署	産業経済部 商工観光課 商工係		45-1663		43

事業名	島崎・浜町ウォーターフロントエリア活性化事業 (財産管理事業)	継続	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> R2.9: 宮津市公共施設再編方針の策定 ⇒島崎エリアの民間資金等を活用した活性化に向け、サウンディング調査を行う方針 R3.1~R3.11: サウンディング調査 (4回実施、延べ16社と対話) ⇒「民間資金等の活用について一定の可能性があること」を把握 R4年度: 島崎ウォーターフロントエリア民間開発事業可能性調査 (63社へヒアリング) ⇒「立地条件の良い道の駅等までエリアを拡大することで可能性が高まる」との評価 R5年度: 島崎・浜町ウォーターフロントエリア民間資金等活用事業可能性調査 (123社へヒアリング) ⇒ヒアリング結果等から、「各エリア毎の評価と活性化の方向性」が提示 (道の駅の拡張に優先着手し、エリア全体の賑わい創出を図るもの) 		1,057					1,057	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			7,500						
			(参考)前々年度決算額						
目 的 ・ 目 標	日本三景天橋立を臨む眺望に優れ、アクセスも良い「島崎・浜町ウォーターフロントエリア」において、エリア毎の活性化方針を策定し、地域経済の活性化を図る。		総計重要プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト					
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり					
事 業 概 要	<p>■有識者等による検討会議の設置 1,057千円</p> <p>R5年度調査において示された「エリア活性化の方向性」については、民間意向に基づく事業化の可能性を踏まえた内容であるが、今後、市が事業化の判断を行うに当たり、有識者等による検討会議を立ち上げ、市民意向も把握した上で、事業化に向けたエリア毎の活性化方針を策定する。</p> <p>○検討会議での検討事項</p> <ul style="list-style-type: none"> エリア活性化の方向性の検証 エリア毎の活性化方針 (基本方針、具体的な取り組み、事業効果等) の検討 事業化に向けたスケジュール <p>※市民意向の把握 (アンケート等)</p> <p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> 有識者、市民代表、経済関係者など8名程度 <p>○オブザーバー</p> <ul style="list-style-type: none"> R5年度可能性調査の受託者 <p>○想定スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回会議 6月 (エリア活性化の方向性の検証) 第2回会議 9月 (エリア活性化方針案、アンケート案) 市民アンケート10月 第3回会議 1月 (エリア活性化方針修正案、提言) 		施策分野	海の活用					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			H27	宮津市公共施設等総合管理計画			H27~R7		
			R2	宮津市公共施設再編方針			R2~R12		
			期待される効果等	当該エリアの賑わい創出と地域経済の活性化					
				 					
			担当部署	企画財政部 財政課 資産活用係		45-1611	44		

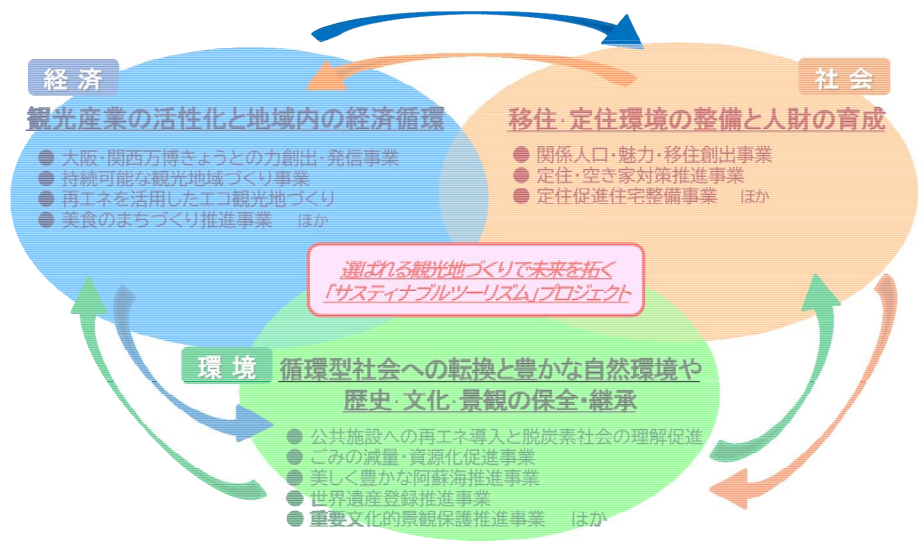
事業名	持続可能な環境づくり推進事業	継続	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R2. 6: 「2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロ」を宣言 ・R3. 10: 気候非常事態宣言 (与謝野町との共同宣言) 宮津市環境基本計画策定 		49,627	49,347	260			20
		(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
目 的 目 標	環境基本計画に基づき、再生可能エネルギーの利用促進及び発電施設の整備促進など、脱炭素社会の構築に向けた取組みを進め、環境負荷の小さなまちを目指す。	(参考)前々年度決算額	53,080	国	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金			49,347
			53,155	府	家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金			260
		総計重要プロジェクト	—					
事 業 要 概	<p>■再生可能エネルギーの普及・活用に向けた取組み 49,347千円 再生可能エネルギーを活用したエコ観光地づくりに向けた運行体制の構築、再生可能エネルギーの公共施設での利活用等に向けた調査・設計を行う。</p> <p>○再生可能エネルギーを活用したエコ観光地づくり 21,451千円 [対象エリア] 府中地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーを活用したグリーンスローモビリティによる観光客や住民の移動手段の確保に向けた体制の構築 ・充電拠点となる府中地区公民館の太陽光発電設備の詳細設計 など <p>※グリーンスローモビリティ:時速20km未満で公道を走る4人乗り以上の公共交通</p> <p>○公共施設への再生可能エネルギーの導入と脱炭素社会の理解促進 27,896千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の屋根又は屋上に設置する太陽光発電設備の詳細設計、導入可能性調査 <p>[詳細設計] 宮津中学校、府中小学校、宮津ターミナルセンター(京都丹後鉄道宮津駅) [導入可能性調査] 宮津阪急ビル(福祉・教育総合プラザ)</p> <p>■再生可能エネルギーの導入支援 280千円 住宅用太陽光発電システム・蓄電池同時導入支援 140千円×2基</p>	テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり					
		施策分野	環境					
		【宮津市総合計画以外の計画】						
		R3	宮津市環境基本計画			R3～R12		
		期待される効果等	脱炭素社会の構築に向けた市民、事業者の理解の促進 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・二酸化炭素排出量(年間) H25:135,000t-co2 → R7:95,000t-co2 ・市施設の公共調達における再生可能エネルギー電力の割合 R元:16.0% → R7:60.0% [参考] 太陽光発電システム 1基(4kw) : 約1.7t-CO2/年の削減					
		担当部署	市民環境部市民環境課 環境衛生係 企画財政部企画課 企画政策係 産業経済部商工観光課 観光係			45-1617 45-1664 45-1625		46



グリーンスローモビリティの試行(令和5年度)

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を



事業名	S D G sによる持続可能な地域づくりに向けて (S D G s推進事業)	充実	予 算 額	財 源 内 訳						
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R3.5:宮津市SDGs推進本部の設置 ・R3.9:宮津市SDGs地域プラットフォームの設置 (R4.9:みやづSDGsプラットフォームに改称) ・R5.5:2023年度SDGs未来都市に選定 ・R5.8:宮津市SDGs未来都市計画の策定 		1,000	250	250		500	0		
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳						
目 的 ・ 目 標	2030年のあるべき姿「共に創る みんなが活躍する 豊かなまち“みやづ”」の実現 [経済]観光産業を核とした、地域経済力の高いまち [社会]一人ひとりが地域に愛着を持ち、地域力が高いまち [環境]環境にやさしい観光地として世界に認識されているまち		500	国	デジタル田園都市国家構想交付金			250		
			(参考)前々年度決算額	府	きょうと地域連携交付金			250		
			337	繰入	自然環境保全基金繰入金			500		
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ■みやづSDGsプラットフォームの運営 500千円 市民・事業者向けセミナー、SDGs研修会等開催経費ほか ■SDGsフェスタ(仮称)の開催【新規】 500千円 次世代の子どもたちをはじめ、市内事業所、市民等へのSDGsの理解促進と行動変容につなげるとともに、将来のまちの姿を考える機会とするもの [内容]環境保全の講演、プラットフォーム会員によるワークショップ、環境学習など ■SDGs未来都市計画に基づく三側面(経済、社会、環境)の取組 (各事業により実施) 日本三景天橋立のあるまち宮津の未来へつなぐチャレンジ ～SDGsな観光地づくり、若者から選ばれるまちづくり、資源循環の促進～ 		総計重要プロジェクト	—						
			テーマ別戦略	—						
			施策分野	—						
			【宮津市総合計画以外の計画】							
			R5	宮津市SDGs未来都市計画					R5~R7	
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsな観光地の実現 ・地域経済の好循環 ・若者の移住定住の促進、関係人口の拡大 ・持続可能で魅力あるまちづくりの実現 【第7次宮津市総合計画】 将来像の実現に向けた5つの視点 (3)SDGs						
			担当部署	市民環境部 市民環境課 環境衛生係		45-1617	51			



令和6年3月定例会

令和6年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	行政DXの推進 (デジタルトランスフォーメーション推進事業)	充実	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R02.12:デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針(閣議決定) ・R02.12:デジタル・ガバメント実行計画(閣議決定) ・R02.12:自治体DX推進計画(総務省) ・R03.06:宮津市DX推進本部設置 ・R04.12:宮津市DX推進計画策定 ・R05.04:CIO補佐監設置 		56,910		5,220		39,644	12,046	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			26,075	府	きょうと地域連携交付金		5,220		
			(参考)前々年度決算額	諸	デジタル基盤改革支援補助金		39,644		
			30,977						
目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・DXを活用した市役所窓口サービス等の高度化・向上 ・DXを活用した新たな価値創造のための市役所内部業務の効率化・高度化 ・DXを活用した地域課題の解決・各政策の新たな展開 		総計重要プロジェクト	—					
			テーマ別戦略	—					
事業概要	<p>■市役所窓口サービス等の高度化・向上 ゼロ予算</p> <p>○行政手続きのオンライン化・ワンストップ化に向けた各種申請書様式の統一化等</p> <p>■市役所内部業務の効率化・高度化 50,299千円</p> <p>○自治体情報システム標準化準備:49,288千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム移行に係る環境構築費用 <p>○内部事務の効率化・運用改善:1,011千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスチャットツール(LoGoチャット)の利用対象職員拡大 ・スケジュール管理ツール(LogoチャットPlus)の導入 ・議事録作成システムの導入【新規】 ・テレワーク普及等に向けた環境整備(モバイルWi-Fi調達)【新規】 ・議会DXの推進(定例会のペーパーレス化移行等)【再掲:議事調査課】等 <p>■DXを活用した地域課題の解決・各政策の新たな展開</p> <p>○スマートモビリティの推進 21,451千円【再掲:企画課】</p> <p>○医療MaaSの推進、行政MaaSの試行実施 8,900千円【再掲:健康・介護課】等</p> <p>■推進体制の強化 6,611千円</p> <p>○CIO補佐監(プロデューサークラス)の設置継続</p> <p>○外部人材共同確保【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府において確保する様々なクラススキルで構成する外部デジタル人材のチームによる支援を受けるもの 		施策分野	—					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			R2	第2期行財政運営指針		R2~R7			
			R4	宮津市DX推進計画		R5~R7			
		期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・「行かなくてもいい市役所」「書かなくてもいい窓口」の実現 ・内部業務効率化による市役所の新たな価値の創造 						
			 						
		担当部署	総務部 総務課 情報推進係	45-1602	52				

令和6年度DX推進の取組 ～つなごうデジタル宮津～

		取組を継続		
		これまでの取組	R6の取組	今後の取組
DX推進 重点施策 	市役所窓口サービスの高度化・向上 ・行かなくてもいい市役所、行政手続きのオンライン化拡大 ・書かない窓口、手続きのワンストップ化 ・マイナンバーカード普及促進	◆行かなくてもいい市役所、行政手続きオンライン化拡大 ・びったりサービス連携による転入転出手続きオンライン化 ・公共施設予約案内システム導入 ・公式LINE充実 ・マイナンバーカードの普及・促進体制の強化 ・公共工事の電子入札開始 ・税申告支援システム端末の窓口配置	◆行政手続きのオンライン化のさらなる拡大に向けた準備 ・マイナンバー連携環境の構築(戸籍等) ◆書かない窓口、手続きのワンストップ化に向けた準備 ・(新)申請様式の統一化・共通化研究	◆行政手続きのオンライン化の拡大 ◆書かない窓口、手続きのワンストップ化 ・新たな電子申請システム導入 ・書かない窓口システム導入 ・マイナンバーカード利用拡大
	市役所内部業務の効率化・高度化 ・自治体情報システムの標準化 ・AI/RPAの導入拡大 ・内部事務の効率化、運用改善 ・テレワーク・リモートワークの拡大 ・セキュリティ対策の徹底	◆自治体情報システム標準化準備 ◆RPAの導入 ◆内部事務の効率化・運用改善 ※R4実績2,900時間を創出 ◆テレワーク・リモートワークの試行 ◆セキュリティ対策の徹底	◆自治体情報システム標準化対応 ・生活保護システムの標準化 ・標準化準備(基幹、健康管理、戸籍) ◆AI/RPAの導入拡大・RPA利用拡大 ・(新)AI文字おこしツールの導入(議事録作成システム) ・(新)職員テレワーク環境の構築	◆自治体情報システム標準化 ・20業務システムの標準化対応完了 ◆職員事務効率化の実現 ・生成AIやRPA等の技術の浸透、積極的な活用の促進
	地域課題の解決・各施策の新たな展開	◆スマート医療の実証 ・医療MaaSの実証 ◆スマートモビリティの実証 ・グリーンスローモビリティの試行 ◆スマート観光の実証 観光DX(高付加価値化事業) ◆スマート農林水産業実現に向けて ・農業委員へのタブレット端末配置(農地調査の効率化) ・土地利用情報(農地、宅地)のデジタルデータ化	◆スマート医療の実証継続 ・(新)医療MaaS車両での行政MaaS試行 ◆スマートモビリティの試行 ・本格運行に向けた試行の継続 ◆スマート観光(観光DX)の実証継続 ・宿泊者情報分析システム導入等(R5繰越事業)	◆医療・行政MaaSの実現 ・スマート福祉・保健・医療 ※行かなくてもいい市役所と併せて ◆生産力向上(観光、農水産業) ・観光需要予測、AI等技術利用による生産力向上 ・システム化等による労務負担軽減
計画の推進 	推進体制	◆DX推進計画策定(R4.12) ◆DX推進本部設置	◆DX推進本部によるプロジェクト管理	◆DX推進本部によるプロジェクト管理
	デジタル人材の育成・確保	◆外部人材の登用 ・副業・兼業プロ人材活用、CIO補佐監配置 ◆職員研修の開催	◆外部人材の登用 ・(拡)CIO補佐監継続 ・(新)エンジニア等確保(府共同事業) ◆職員研修の開催	◆外部人材の登用 ・CIO補佐監継続 ・エンジニア等外部人材確保 ◆職員研修の開催

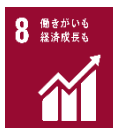


令和6年3月定例会

令和6年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	大規模自然災害発生への危機に対する備え (防災活動事業、住宅耐震化促進事業)	充実	予算額	財源内訳																						
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源																		
背景経緯	H29.3月 宮津市建築物耐震改修促進計画を改正 R2.6月 宮津市地域防災計画を全部改正 災害時職員対応マニュアルを改正 R3.4月 宮津市業務継続計画を策定 R4.3月 宮津市災害時受援計画を策定 R6.1.1 能登半島地震 宮津市柳縄手 地点震度3 (津波注意報発表)		16,545	3,560	2,960		2,100	7,925																		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳																						
			9,154	国	木造住宅耐震化促進事業費補助金	3,540	国	デジタル田園都市国家構想交付金	20																	
			(参考)前々年度決算額	府	木造住宅耐震化促進事業費補助金	2,960	諸	コミュニティ助成金	2,000																	
目的目標	能登半島地震を踏まえ、防災活動の強化を図るとともに、木造住宅の耐震化を強力に推進する。		6,016	諸	消防団員等公務災害補償費給付金	100																				
			総計重要プロジェクト	—																						
事業概要	<p>■防災活動事業 6,995千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害時対応マニュアルの強化・検討、市民啓発【新規】 1,000千円 能登半島地震を踏まえた課題整理や調査、市民向けタイムライン作成の普及啓発 ○コミュニティ助成金を活用した自衛消防隊(由良脇)への資機材整備支援【新規】 2,000千円 ○防災活動に係る経費 3,995千円 自主防災組織助成金、防災情報等一斉配信システム運用管理、災害備蓄品ほか <p>■木造住宅の耐震診断、耐震改修に対する支援 9,550千円</p> <p>[対象]昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅</p> <ul style="list-style-type: none"> ○耐震診断(木造住宅耐震診断士による無料診断) ・支援額 55千円/件 ・診断件数見込み 20件 ○耐震改修(耐震改修後の評点が1.0以上となる改修) 【拡充】補助率及び補助上限額の引き上げ ※令和6~7年の拡充時限措置 ・補助金 上限180万円/件(補助率10/10) ・補助件数見込 4件 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="text-align: center;"> 現行 ↓ 拡充後 </div> </td> <td colspan="4" style="text-align: center;">補助金(限度額) 120万円 ※補助率 4/5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">国2/5 60万円</td> <td style="text-align: center;">府1/5 30万円</td> <td style="text-align: center;">市1/5 30万円</td> <td style="text-align: center;">個人1/5 30万円</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">補助金(限度額) 180万円 ※補助率 10/10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">国1/3 60万円</td> <td style="text-align: center;">府1/3 60万円</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">市1/3 60万円</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○簡易耐震改修 簡易な方法(屋根の軽量化、壁の補強など)により耐震性を向上させる改修 ・補助金 上限40万円/件(補助率4/5) ・補助件数見込み 3件 	<div style="text-align: center;"> 現行 ↓ 拡充後 </div>	補助金(限度額) 120万円 ※補助率 4/5				国2/5 60万円	府1/5 30万円	市1/5 30万円	個人1/5 30万円	補助金(限度額) 180万円 ※補助率 10/10					国1/3 60万円	府1/3 60万円	市1/3 60万円			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり				
			<div style="text-align: center;"> 現行 ↓ 拡充後 </div>	補助金(限度額) 120万円 ※補助率 4/5																						
		国2/5 60万円		府1/5 30万円	市1/5 30万円	個人1/5 30万円																				
		補助金(限度額) 180万円 ※補助率 10/10																								
		国1/3 60万円	府1/3 60万円	市1/3 60万円																						
		施策分野	社会基盤・防災減災																							
		【宮津市総合計画以外の計画】																								
		H28	宮津市建築物耐震改修促進計画					H28~R7																		
		R2	宮津市地域防災計画																							
		R3	宮津市業務継続計画																							
R3	宮津市災害時受援計画																									
期待される効果等	安全・安心で快適に暮らせるまちづくりの推進 ・被害を最小限に防ぎ、市民の生命・財産・暮らしが守られる。 ・建物の倒壊による道路閉塞を防止し、避難や救急、消火活動等に迅速に取り組める。																									
担当部署	総務部消防防災課 建設部都市住宅課	消防防災係 建築住宅係	45-1605 45-1631	57・58																						

事業名	認定こども園運営事業	新規	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	○宮津暁星幼稚園の沿革 S11：フランス人宣教師 故レイ・ルラブ神父により創立（3歳児から受入） S58：現在の所在地へ移転し、モンテッソーリ教育法を開始（年齢別のクラス編成） S61：縦割りクラスを編成し、縦割り保育を実施 H18.9：満3歳児の受入開始 H27.4：子ども・子育て支援新制度施行後、未移行幼稚園として運営 R元.10：幼児教育・保育の無償化 R6.4：府域初の幼稚園型認定こども園へ移行予定		46,763	21,176	12,804			12,783	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			—	国	子どものための教育・保育負担金	21,085			
				国	子ども子育て支援交付金	91			
			(参考)前々年度決算額	府	子どものための教育・保育負担金	12,713			
	府	子ども子育て支援交付金	91						
目的・目標	幼稚園型認定こども園へ移行予定の宮津暁星幼稚園について、子ども・子育て支援新制度に基づき、施設等利用給付及び保育の充実のための補助等を行い、保護者のニーズに応じた保育サービスの充実を図る。	総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト						
		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり						
事業概要	■～府域初の幼稚園型認定こども園の設置（宮津暁星幼稚園）～ 【新規】46,763千円 認定こども園移行後の園の運営にかかる施設型給付費や一時預かり等の経費の一部を補助するもの（2号認定の受入れや開設日等の拡充に伴うもの） ○子どものための施設等利用給付 1号及び2号認定の受入れ ○一時預かり保育事業に係る支援 未就園児向けの預かり保育の実施 ○延長保育事業に係る支援 2号認定の保育短時間認定に係る延長保育の実施 宮津暁星幼稚園の運営体制の拡充（開園日・開園時間の増、給食提供日の増など）		施策分野	子育て支援・学校教育					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			R元	第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画				R2～R6	
期待される効果等			・開設日、開園時間の拡充により、保護者の就労ニーズに応じた保育の実施 ・未就園児童の預かり保育の開始 ・子育て相談窓口の開設 ・子育て関係団体との連携による子育て連携事業の開始 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・市の子育て環境や支援に対する満足度（普通～満足度が高いと回答した割合） H30 就学前69.1% → R5 74.0% 小学生61.2% 66.0%						
担当部署	教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係		45-1641	106					

事業名	市民共創型シティプロモーション事業の展開 (関係人口・魅力・移住創出事業)	新規	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 緯	R元：企画課内に魅力発信係を設置（シティプロモーション担当部署の明確化） R2：市ホームページのリニューアル R2～4：デジタルコンテンツの作成（136コンテンツ） R5～：地域おこし協力隊を活用した暮らしや地域の魅力発信を実施		1,200		490		400	310
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			—	府	きょうと地域連携交付金	490		
目 的 標	市民と協働するシティプロモーションを進めることで、新たな視点での本市の魅力発掘やコンテンツ作りにつなげ、郷土愛の醸成を図るとともに、多くの人を巻き込み、口コミでまちの魅力が伝播される取組を推進するもの。		(参考)前々年度決算額					
			3,993					
			総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
事 業 要	■市民共創型「宮津市PRポスター」の制作 600千円 市民参加型のワークショップ形式により宮津市のPRポスターを制作することで、新たな魅力の発掘やシビックプライドの醸成につなげるとともに、今後の本市のブランドイメージづくりにつなげるもの。 【取組概要（予定）】 ○ 実施方法 ワークショップ形式によるポスターづくり ○ 参加者 若者世代を中心に募集 ○ 検討内容 宮津らしさを効果的に伝えるための写真やキャッチコピー等 ※ 作成したポスターは、市内施設での掲示や移住フェア等で活用 ■市民共創型「写真・動画コンテスト」の実施 600千円 市民による本市の魅力発信を促し、口コミでまちの魅力が伝播される取組を進めるため、写真や動画コンテストを実施するとともに、撮影講座を実施するもの。 【取組概要（予定）】 ① コンテストの実施 ○ 募集内容 写真、短編プロモーション動画（1分程度） ○ テーマ 宮津での「暮らし」 ② 撮影講座の実施 コンテストの開催に併せて、「撮影講座」を実施することで、「映える」動画や写真の技術向上を図り、市民の情報発信力向上を促す。		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり				
			施策分野	シティプロモーション				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			期 待 される 効果等	・本市の認知度向上、イメージアップ ・シビックプライドの醸成 [第7次宮津市総合計画数値目標] ○宮津に愛着・誇りをもっている割合 R元:73% → R7:100% ○市公式HP(シティプロモーション)年間ビュー数 R元:- → R7:30万PV				
				 8 備わっている経済成長  11 住み続けられるまちづくりを  17 パートナシップで目標を達成しよう				
				担当部署	企画財政部 企画課 移住定住・魅力発信係	45-1609	115	

事業名	河川整備事業	充実	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	・滝馬川流域の浸水被害(床上・床下浸水) H16.10台風23号・H25.9台風18号・H29台風18号, 台風21号・H30.7月豪雨, 台風24号 ・R元.12:宮津市国土強靱化地域計画策定 ・R2:滝馬川改修促進協議会と意見交換等を重ね整備計画をまとめる。		96,800		2,500	91,800		2,500
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			79,000	府	きょうと地域連携交付金		2,500	市債
目的・目標	地域住民が安全・安心に生活できるよう、頻発する滝馬川周辺地域の浸水被害の軽減を図るため、宮津市国土強靱化地域計画に基づき、災害に強い河川の整備を進める。 併せて、城東、辻町地区の浸水対策に向けた調査に取り組むとともに札幌川の整備に着手する。		(参考)前々年度決算額					
			187,150					
事業概要	■滝馬川河川整備(滝馬地区) 71,800千円 全体計画 L=477m(うち318m整備済) R6整備予定区間 L=159m 護岸工・護床工		総計重要プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり				
			施策分野	社会基盤・防災減災				
	■札幌川河川整備(須津地区) 20,000千円 R6整備予定区間 L=130m 護岸工		【宮津市総合計画以外の計画】					
			R元	宮津市国土強靱化地域計画策定			R元～R5	
	■浸水対策に向けた流量調査(城東・辻町地区) 【新規】 5,000千円 調査区域 80ha		期待される効果等	浸水被害の軽減と、地域住民の安全・安心の確保 [第7次宮津市総合計画数値目標] ・災害による死亡者数 R2:0人⇒R7:0人/5年 ・緊急性の高い河川の整備 R2:0河川⇒R7:1河川				
		担当部署	建設部 土木管理課 土木係		45-1629		130	

事業名	KTR支援事業	継続	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景経緯	・H26.12：北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画策定（計画期間：H26年度～R5年度） ・H27.4：北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画に基づき、北近畿タンゴ鉄道(株)が鉄道施設を保有し維持管理を行い、ウィラートレインズ㈱が京都丹後鉄道の運行を行う上下分離方式による運営を開始 ・R6.1：京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画策定（計画期間：R5年度～R16年度） 北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画を継承し、京都丹後鉄道を基軸とした地域公共交通の活性化を図るもの。		295,976	92,765		203,000		211	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			159,889	国	地域公共交通再構築事業費補助金	92,765	市債	過疎対策事業債	203,000
目的目標	新たに策定された京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画に基づき、老朽化が進む鉄道基盤を保有する北近畿タンゴ鉄道(株)が行う鉄道施設及び車両の整備・更新等に係る費用を、新たな財源も活用しながら沿線自治体で支援することで、安心・安全な運行と持続可能性の確保や快適性・利便性の向上などを図る。		(参考)前々年度決算額						
			146,163						
事業概要	①地域公共交通再構築事業費補助金 185,534千円 R5年度に新設された地域公共交通再構築事業費補助金(社会資本整備総合交付金)(補助率1/2)を活用し、電路・線路設備の整備に対して沿線自治体で協調支援するもの ②鉄道軌道安全輸送設備等整備事業補助金 27,706千円 車両検査にかかる経費(社会資本整備総合交付金対象外)について、沿線自治体で協調支援するもの ③北近畿タンゴ鉄道支援費基盤管理補助金 82,680千円 北近畿タンゴ鉄道の鉄道基盤維持費用を沿線自治体で協調支援するもの ④北近畿タンゴ鉄道生活交通改善事業計画に関する協議会負担金 56千円 京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画の評価等にかかる協議会・検討会(計4回開催予定)開催経費を沿線自治体において負担するもの		総計重要プロジェクト	—					
			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり					
			施策分野	公共交通					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			R3	京都府北部地域連携都市圏公共交通計画				R4～R8	
			R3	宮津市地域公共交通計画				R4～R8	
			R5	京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画				R5～R16	
			期待される効果等	・京都丹後鉄道を基軸とした地域公共交通の活性化 [第7次宮津市総合計画 分野別数値目標] ・京都丹後鉄道利用者数 R元:1,580千人 ⇒ R7:1,460千人					
			担当部署	企画財政部 企画課 企画政策係			45-1664	157	
					総事業費	うち宮津市負担分	国庫支出金	市債	一般財源
①	R5年度3月補正予算	393,720	57,049	28,524	28,500	25			
	R6当初予算	897,300	128,485	64,241	64,200	44			
②～④	R6当初予算	1,122,192	110,442		110,300	142			
	(参考)R5当初予算	1,644,350	152,134		151,800	334			
基盤整備補助金	(参考)R5当初予算	53,530	7,755		7,700	55			




事業名	地域交通政策事業	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H30.10:丹後海陸交通(株)から、運転手不足のため枝線6路線からの運行撤退の申し入れ以後、路線再編に向けて協議開始 ・R2.4:上宮津線、養老線、日ヶ谷線廃止 新たに地域主体の「交通空白地有償運送」による運行開始 ・R2.10:島陰新宮由良線廃止。由良地区では新たに地域主体による運行開始 栗田地区では、200円タクシーの取り組みがスタート、田井線を観光需要に対応した路線へ再編 ・R4.3:京都府北部地域連携都市圏公共交通計画及び宮津市地域公共交通計画策定 ・R6.1:京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画策定 		991					991
		(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			460					
		(参考)前々年度決算額	175					
目的・目標	<p>関係人口の創出、若者が住みたいと思えるまちづくりを推進し、過度に自家用車に頼らないために、地域公共交通の魅力創出及び利用促進を図る。</p> <p>また、令和6年度の旧国鉄宮津線(現丹鉄宮舞線)100周年に際し記念事業を実施することで、公共交通の利用拡大と愛着を深めるもの。</p>	総計重要プロジェクト	—					
		テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり					
事業概要	<p>■旧国鉄宮津線(現丹鉄宮舞線)100周年事業【新規】 580千円</p> <p>旧国鉄宮津線(現丹鉄宮舞線)100周年(R6.4.12)を記念し、宮津駅および前尾記念クロスワークセンターMIYAZUにおいて記念イベントを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開催日:令和6年4月14日(予定) ○場 所:宮津駅(展示会場)、前尾記念クロスワークセンターMIYAZU(体験会場) ○内 容:鉄道に係る講演会、写真展、ワークショップ等体験イベントほか ○その他:栗田駅、丹後由良駅、岩滝口駅でもサロン活動や地域イベント等を開催 京都丹後鉄道と連携し、各駅を結ぶことで、鉄道の利用促進につなげる <p>■バス・鉄道お絵かきコンテストの開催【新規】 70千円</p> <p>コンテストをきっかけに家族での利用促進を図る取組を実施するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○内 容 <ul style="list-style-type: none"> ・市内小学生、幼稚園・保育園児を対象にバス・鉄道お絵かきコンテストを開催 ・募集作品のバス・鉄道車内への展示、優秀作品の切符等への印刷 など <p>■宮津市地域公共交通会議の運営 341千円</p> <p>「宮津市地域公共交通計画」の進捗管理や新たな交通手段の導入に向けた「先進モビリティサービス検討部会」における合意形成や具体の取組の検討を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開催回数 5回/年(地域公共交通会議3回・先進モビリティ部会2回) ○主要内容 市内公共交通や交通計画、グリスロ等先進モビリティに関すること 	施策分野	公共交通					
		【宮津市総合計画以外の計画】						
		R3	京都府北部地域連携都市圏公共交通計画	R4~R8				
		R3	宮津市地域公共交通計画	R4~R8				
		R5	京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画	R5~R16				
		期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・安定的で持続可能な公共交通の確立 ・シームレスな(継ぎ目のない)移動しやすい交通体系の構築 <p>[第7次宮津市総合計画数値目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通利用者数 R元:192.0万人 ⇒ R7:168.2万人 					
		担当部署	企画財政部 企画課 企画政策係		45-1664	158		







令和6年3月定例会

令和6年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	持続可能な地域医療・健康づくり推進事業 (地域医療推進事業)	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R3. 3:宮津市地域医療のあり方検討委員会を設置 ・R4. 2:上記委員会から以下の内容を含む提言を受領 <ul style="list-style-type: none"> ・実効性のある包括ケアシステムの構築、健康寿命延伸施策の推進 ・橋北地域の拠点医療施設に係る整備計画の検討 ・オンライン診療など新たな医療提供の検討 ・R4. 8:宮津市持続可能な地域医療推進協議会を設置 <ul style="list-style-type: none"> ・医療MaaS、健康づくり研究事業に関することを協議 ・R4. 11:医療MaaS実証事業を実施 (~R5. 2) ・R5. 12:医療MaaS事業を実施 		9,000	4,450			4,400	150
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			8,400	国 繰入	デジタル田園都市国家構想交付金 繰入	4,450	4,400	
			(参考)前々年度決算額					
			12,967					
目的・目標	将来にわたり安心して医療を受けられる環境の維持及び、健康寿命延伸のため、健康医療に係る研究・分析、デジタル技術を活用したオンライン診療を実施し、持続可能な地域づくりを目指す。		総計重要プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	健康でいきいきと幸せに暮らせるまちづくり				
事業概要	<p>■医療MaaS等の推進 8,900千円</p> <p>◆医療器材を搭載した車両を活用したオンライン診療の推進</p> <p>○事業概要</p> <p>①看護師が車両に乗車し患者宅を訪問</p> <p>②患者が車両に乗り込み、医療機関にいる医師とオンラインでつながる。</p> <p>③医師は、看護師に必要な指示を行いながら診察を行う。 (必要に応じ採血等も実施)</p> <p>○実施回数</p> <p>週1～2日(月8日)程度の実施を想定</p> <p>◆行政MaaSの研究等【新規】 ゼロ予算</p> <p>○車両を活用した行政MaaSの試行に係る活用研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健指導/行政相談/移動投票所等 ・公民館等での医師等専門職による健康相談などの活用を研究(北部医療センターとの協働) ・民間活力の導入による事業持続可能性の研究 <p>■健康づくり研究事業 100千円</p> <p>○健康寿命の延伸に向けた調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・透析患者の現状分析など 		施策分野	健康・医療				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			R5(予定)	第10次宮津市高齢者保健福祉計画・第9期宮津市介護保険事業計画	R6～R8			
			R5(予定)	第2次いきいき健康長寿のまち"みやづ"推進プラン	R6～R8			
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機会の確保 ・健康寿命の延伸 ・持続可能な地域づくり 				
								
			担当部署	健康福祉部 健康・介護課 健康増進係 総務部 総務課 情報推進係		45-1624 45-1602	189	

事業名	文化芸術活動活性化事業	充実	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> R3.4: 宮津市文化芸術活動活性化事業補助金制度創設 R4.9: 天橋立周年記念事業モノオペラ『ガラシャ』天橋立公演開催 宮津市文化芸術ブランドアンバサダーに田中彩子氏を任命、中学生との交流事業を実施 R5.5: ブランドアンバサダー交流事業(中学生及び市内合唱団体)を実施 R5秋～冬: 民主体による音楽イベント(KYOTO PHONIE、MIYAZU SEASIDE BOUND MUSIC LIVE、天橋立ジャズフェスティバル等)が開催される 		1,903	760		700	443	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			3,981	国 繰入	デジタル田園都市国家構想推進交付金 教育基金繰入金		760 700	
			(参考)前々年度決算額					
			935					
目的・目標	「豊かな心と体が育まれる文化芸術のまち」の実現を目指し、体験講座の実施や文化芸術活動への支援を行うなど、市民が文化を身近に感じ関心が持てる機会の創出を図る。		総計重要プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり				
事業概要	■「街じゅうに音楽を、みやづ」プロジェクト推進事業【新規】 1,520千円 官民の取組をまとめて情報発信し、民の取組を後押しするとともに、音楽によるまちの元気づくりを行うもの。		施策分野	文化・スポーツ振興				
	◎ロゴマークの普及 音楽イベントの広報物や実施会場に統一のロゴマークを掲げ、一体感の創出と機運醸成を図る。		【宮津市総合計画以外の計画】					
	◎MUSIC FUSION KYOTO国際音楽祭(仮称)連携事業 MUSIC FUSION KYOTO国際音楽祭(仮称)と連携した音楽イベントや小中学生を対象としたプロ奏者による体験講座等を実施(京都府との連携により開催)		R2	宮津市教育大綱・教育振興基本計画		R3～R7		
	◎文化芸術活動活性化支援 ◆まちかどコンサート等の開催に対する支援(経費の10/10 上限5万円) 市内の歴史的建造物等の公共的空間におけるまちかどコンサート等の開催を支援		市民の創作活動、自主的・創造的な文化芸術活動の促進 【第7次宮津市総合計画目標数値】 ・歴史的建造物等を活用した音楽・文化活動回数 R元:一回 → R7:15回 ・文化団体協議会登録団体の数 R元:33団体 → R7:35団体					
	■宮津市文化芸術活動活性化事業 383千円 市民の文化芸術活動の支援を行うことで、市民の文化芸術に触れる機会を創出		期待される効果等	 				
	◎宮津市文化団体協議会活動支援 ◎丹後文化芸術祭開催負担金			担当部署	企画財政部 企画課 文化スポーツ振興係		45-1718	221

事業名	文化財保護・活用推進事業	債務負担行為の設定 9,200千円	充実	予算額	財源内訳				
					国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	H19 天橋立の世界遺産登録に向けて推進運動を開始 H26・27 「宮津天橋立の文化的景観(府中・文珠)」が国重要文化的景観に選定 H27 「成相寺旧境内」が国史跡に指定 R5.12 「宮津市文化財保存活用地域計画」の文化庁認定			6,976	3,861	250		2,300	565
				(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	『宮津市文化財保存活用地域計画』(計画期間R6~R15)に基づき、重点プロジェクトを中心に関連事業を実施し、本市の豊かな歴史文化資源の保全活用を図り、持続可能なまちづくりにつなげる。			3,563	国	国宝重要文化財等保存整備費補助金			3,861
				(参考)前々年度決算額	府	子どもの教育のための総合交付金			250
事業概要	<p>■「宮津市文化財保存活用地域計画」に基づく文化財の保存と活用</p> <p>◆基本方針に基づく関連事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内文化財の調査・指定・保全事業 435千円 文化財保護審議会の開催 など ○「子ども学芸員養成講座」の実施 500千円 子どもみずから地域の歴史文化に触れ、調べ、伝える社会教育プログラム ○旧三上家住宅耐震診断調査の実施(文化庁補助事業)【新規】 5,941千円 (R6~R7:債務負担行為の設定 9,200千円) 今後の活用を見据え、老朽化した建物の保存修理に向けた耐震診断調査 [今後の予定] R6~R7:耐震診断 R7以降:活用に向けた重要文化財保存活用計画の策定等 <p>◆文化財の保存・活用の推進体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「宮津市文化財保存活用計画推進協議会(仮)」の開催【新規】 100千円 事業の情報共有や事業の企画調整・進捗確認等 			1,990	繰入	教育基金繰入金		2,300	
				総計重要プロジェクト	—				
事業概要				テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり				
				施策分野	文化財保存・活用				
事業概要				【宮津市総合計画以外の計画】					
				R3	宮津市教育振興計画			R3~R7	
事業概要				R5	宮津市文化財保存活用地域計画			R6~R15	
				期待される効果等	①歴史文化遺産、自然遺産の保全継承 ②文化資源を活用した地域経済の活性化 ③市民の郷土理解促進、誇りとアイデンティティの創出 ④地域コミュニティの維持と新たなまちづくり ⑤歴史文化を生かした地域ブランディング				
事業概要	 (旧三上家住宅)	 (子ども学芸員養成講座 (R5))		担当部署	教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係		45-1642	224	
					11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任			

事業名	宮津市制施行70周年記念事業	新規	予算額	財源内訳																										
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源																						
背景経緯	S29.6.1 市制施行 (宮津町・栗田村・吉津村・府中村・日置村・世屋村・養老村・日ヶ谷村の8つの町村が合併し、宮津市が誕生) S31.9.20 由良村が宮津市と合併		1,219					1,219																						
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳																										
目的目標	<ul style="list-style-type: none"> 市民とともに市制施行70周年を祝うため、記念式典を開催する。 市制施行70周年を広く市民に知っていただくため、市が主催等する事業について、記念冠事業として実施する。 		—																											
			(参考)前々年度決算額																											
事業概要	<p>■宮津市制施行70周年記念式典 1,219千円</p> <p>市制施行70周年を祝し、市内外から来賓等を招き記念式典を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治功労者等に記念品又は感謝状を贈呈し、表彰を行うもの <p>開催日：令和6年6月1日 場 所：みやづ歴史の館 文化ホール 出席者：表彰者120名 (予定) 来賓等130名 (予定)</p> <p><参考></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">宮津市制施行70周年記念冠事業(予定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◇旧国鉄宮津線(現丹鉄宮舞線)100周年事業</td> <td rowspan="2">旧国鉄宮津線100周年事業</td> </tr> <tr> <td>◇宮津燈籠流し花火大会</td> </tr> <tr> <td>◇関西北前船研究交流セミナー</td> <td rowspan="3">大阪・関西万博きょうとの力創出・発信事業</td> </tr> <tr> <td>◇宮津田井海まちフェスタ</td> </tr> <tr> <td>◇SDGsフェスタ</td> </tr> <tr> <td>◇宮津市プロモーションポスター、動画コンテスト</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◇宮津市海洋釣り場釣り大会 ◇オーリーイベント</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◇在宅医療介護連携シンポジウム ◇健康フェスティバル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◇宮津市民文化祭 ◇人権市民のつどい ◇宮津市すこやか大学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◇天橋立駅伝競走大会 ◇天橋立エルデストソフトボール大会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◇天橋立エルダーソフトボール大会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◇未来を担う子どもたちと議会の交流会</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	宮津市制施行70周年記念冠事業(予定)		◇旧国鉄宮津線(現丹鉄宮舞線)100周年事業	旧国鉄宮津線100周年事業	◇宮津燈籠流し花火大会	◇関西北前船研究交流セミナー	大阪・関西万博きょうとの力創出・発信事業	◇宮津田井海まちフェスタ	◇SDGsフェスタ	◇宮津市プロモーションポスター、動画コンテスト		◇宮津市海洋釣り場釣り大会 ◇オーリーイベント		◇在宅医療介護連携シンポジウム ◇健康フェスティバル		◇宮津市民文化祭 ◇人権市民のつどい ◇宮津市すこやか大学		◇天橋立駅伝競走大会 ◇天橋立エルデストソフトボール大会		◇天橋立エルダーソフトボール大会		◇未来を担う子どもたちと議会の交流会		<p>総計重要プロジェクト</p> <p>テーマ別戦略</p> <p>施策分野</p> <p>【宮津市総合計画以外の計画】</p> <p>期待される効果等</p> <p>担当部署</p>					
		宮津市制施行70周年記念冠事業(予定)																												
		◇旧国鉄宮津線(現丹鉄宮舞線)100周年事業	旧国鉄宮津線100周年事業																											
		◇宮津燈籠流し花火大会																												
		◇関西北前船研究交流セミナー	大阪・関西万博きょうとの力創出・発信事業																											
		◇宮津田井海まちフェスタ																												
◇SDGsフェスタ																														
◇宮津市プロモーションポスター、動画コンテスト																														
◇宮津市海洋釣り場釣り大会 ◇オーリーイベント																														
◇在宅医療介護連携シンポジウム ◇健康フェスティバル																														
◇宮津市民文化祭 ◇人権市民のつどい ◇宮津市すこやか大学																														
◇天橋立駅伝競走大会 ◇天橋立エルデストソフトボール大会																														
◇天橋立エルダーソフトボール大会																														
◇未来を担う子どもたちと議会の交流会																														
宮津への愛着・誇りの醸成																														
																														
総務部 総務課 総務秘書係 45-1604																														
233																														


会計名等	国民健康保険事業特別会計			設置目的	国民健康保険事業の健全な運営を確保し、被保険者に必要な保険給付、保健事業を行う。																																																						
予 算	歳 入			令和6年度	令和5年度	増 減	歳 出																																																				
	1 国民健康保険税			353,355	375,360	△ 22,005	1 総務費																																																				
	2 使用料及び手数料			170	200	△ 30	2 保険給付費																																																				
	3 国庫支出金			2,708	55	2,653	(項)療養諸費																																																				
	4 府支出金			1,509,760	1,336,033	173,727	3 国民健康保険事業費納付金																																																				
	(節)普通交付金			1,462,306	1,293,923	168,383	4 保健事業費																																																				
	(節)特別交付金			47,454	42,110	5,344	5 基金積立金																																																				
	5 財産収入			13	16	△ 3	6 公債費																																																				
	6 繰入金			211,535	196,423	15,112	7 諸支出金																																																				
	(目)一般会計繰入金			192,074	176,423	15,651	8 予備費																																																				
	(目)基金繰入金			19,461	20,000	△ 539																																																					
	7 繰越金			1	1,000	△ 999	合 計																																																				
	8 諸収入			4,553	5,809	△ 1,256	2,082,095																																																				
合 計			2,082,095	1,914,896	167,199	1,914,896																																																					
合 計			2,082,095	1,914,896	167,199	167,199																																																					
予算概要 (予算の特徴)	<p>■京都府全体の保険給付費の増嵩に伴い、京都府により示された標準保険税率が急増したことから、国民健康保険事業基金の一部を繰り入れ、保険税額の急激な増額抑制を図るとともに、適切な国保事業の運営を図る。</p> <p>○歳入においては、被保険者数の減少及び基金繰入れにより、国民健康保険税は5.9%減、保険給付費の増により府支出金は13.0%増。</p> <p>○歳出においては、被保険者数は減少しているものの、1人当たりの医療費は増加傾向にあり、保険給付費は12.9%増。</p> <p>○人間ドック補助について、適正な費用負担と補助金交付制度の維持の観点から、令和6年度は補助率を8割に見直し。(現行:9割 ⇒ R6:8割 ⇒ R7:7割)</p> <p>○第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画(R5年度策定)に基づき、新たに医療機関未受診者への受診勧奨を実施するほか、引き続き特定健診及び特定保健指導などの保健事業を推進。</p>																																																										
備 考 (特記事項)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29決算</th> <th>H30決算</th> <th>R元決算</th> <th>R2決算</th> <th>R3決算</th> <th>R4決算</th> <th>R5当初</th> <th>R6当初</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人当たり保険税(円) 3年連続増</td> <td>93,650</td> <td>75,634</td> <td>85,721</td> <td>86,193</td> <td>81,011</td> <td>89,137</td> <td>91,962</td> <td>96,258</td> <td>(+4.7%)</td> </tr> <tr> <td>1人当たり医療費(円) 増加傾向</td> <td>396,777</td> <td>402,027</td> <td>385,051</td> <td>378,529</td> <td>387,926</td> <td>400,389</td> <td>374,272</td> <td>463,375</td> <td>(+23.8%)</td> </tr> <tr> <td>被保険者数(平均)(人) 引き続き減少</td> <td>5,075</td> <td>4,922</td> <td>4,745</td> <td>4,607</td> <td>4,530</td> <td>4,343</td> <td>4,075</td> <td>3,695</td> <td>(△9.3%)</td> </tr> <tr> <td>国保事業基金残高(千円)※R5-R6は見込</td> <td>118,181</td> <td>158,194</td> <td>164,194</td> <td>177,194</td> <td>173,196</td> <td>171,198</td> <td>133,228</td> <td>131,751</td> <td>(△1,477)</td> </tr> </tbody> </table>										H29決算	H30決算	R元決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5当初	R6当初		1人当たり保険税(円) 3年連続増	93,650	75,634	85,721	86,193	81,011	89,137	91,962	96,258	(+4.7%)	1人当たり医療費(円) 増加傾向	396,777	402,027	385,051	378,529	387,926	400,389	374,272	463,375	(+23.8%)	被保険者数(平均)(人) 引き続き減少	5,075	4,922	4,745	4,607	4,530	4,343	4,075	3,695	(△9.3%)	国保事業基金残高(千円)※R5-R6は見込	118,181	158,194	164,194	177,194	173,196	171,198	133,228	131,751	(△1,477)
	H29決算	H30決算	R元決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5当初	R6当初																																																			
1人当たり保険税(円) 3年連続増	93,650	75,634	85,721	86,193	81,011	89,137	91,962	96,258	(+4.7%)																																																		
1人当たり医療費(円) 増加傾向	396,777	402,027	385,051	378,529	387,926	400,389	374,272	463,375	(+23.8%)																																																		
被保険者数(平均)(人) 引き続き減少	5,075	4,922	4,745	4,607	4,530	4,343	4,075	3,695	(△9.3%)																																																		
国保事業基金残高(千円)※R5-R6は見込	118,181	158,194	164,194	177,194	173,196	171,198	133,228	131,751	(△1,477)																																																		
担当部署	市民環境部 税務・国保課 国保年金係						TEL	45-1616	特 2																																																		



令和6年3月定例会

令和6年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

<p>会計名等</p>	<p>後期高齢者医療特別会計</p>			<p>設置目的</p>	<p>原則75歳以上の高齢者に対して、保険給付等「生活を支える医療」を提供するため、京都府後期高齢者医療広域連合と本市が事務を分担しながら、後期高齢者医療制度の安定的な運営を図る。</p>																																																																									
<p>予 算</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">歳 入</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> <th>増 減</th> <th colspan="2">歳 出</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 保険料</td> <td></td> <td>313,601</td> <td>280,403</td> <td>33,198</td> <td>1 総務費</td> <td></td> <td>3,453</td> <td>2,867</td> <td>586</td> </tr> <tr> <td>2 使用料及び手数料</td> <td></td> <td>10</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>2 後期高齢者医療広域連合納付金</td> <td></td> <td>419,539</td> <td>382,175</td> <td>37,364</td> </tr> <tr> <td>3 繰入金</td> <td></td> <td>112,789</td> <td>108,588</td> <td>4,201</td> <td>3 保健事業費</td> <td></td> <td>3,530</td> <td>4,091</td> <td>△ 561</td> </tr> <tr> <td>4 繰越金</td> <td></td> <td>500</td> <td>500</td> <td>0</td> <td>4 諸支出金</td> <td></td> <td>500</td> <td>500</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5 諸収入</td> <td></td> <td>632</td> <td>632</td> <td>0</td> <td>5 予備費</td> <td></td> <td>510</td> <td>500</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>427,532</td> <td>390,133</td> <td>37,399</td> <td colspan="2">合 計</td> <td>427,532</td> <td>390,133</td> <td>37,399</td> </tr> </tbody> </table>								歳 入		令和6年度	令和5年度	増 減	歳 出		令和6年度	令和5年度	増 減	1 保険料		313,601	280,403	33,198	1 総務費		3,453	2,867	586	2 使用料及び手数料		10	10	0	2 後期高齢者医療広域連合納付金		419,539	382,175	37,364	3 繰入金		112,789	108,588	4,201	3 保健事業費		3,530	4,091	△ 561	4 繰越金		500	500	0	4 諸支出金		500	500	0	5 諸収入		632	632	0	5 予備費		510	500	10	合 計		427,532	390,133	37,399	合 計		427,532	390,133	37,399
歳 入		令和6年度	令和5年度	増 減	歳 出		令和6年度	令和5年度	増 減																																																																					
1 保険料		313,601	280,403	33,198	1 総務費		3,453	2,867	586																																																																					
2 使用料及び手数料		10	10	0	2 後期高齢者医療広域連合納付金		419,539	382,175	37,364																																																																					
3 繰入金		112,789	108,588	4,201	3 保健事業費		3,530	4,091	△ 561																																																																					
4 繰越金		500	500	0	4 諸支出金		500	500	0																																																																					
5 諸収入		632	632	0	5 予備費		510	500	10																																																																					
合 計		427,532	390,133	37,399	合 計		427,532	390,133	37,399																																																																					
<p>予算概要 (予算の特徴)</p>	<p>■ 京都府後期高齢者医療広域連合が賦課する保険料の徴収及び保健事業の実施など適切な運営を図る。 ○ 歳入においては、保険料率の増額改定等より保険料は11.8%の増。 ○ 歳出においては、被保険者数の増加に伴う保険料等負担金（徴収した保険料）と保険基盤安定負担金（低所得者等の保険料軽減に係る負担金）の増加により、後期高齢者医療広域連合納付金は9.8%増。 ○ 人間ドック補助について、団塊の世代の加入により対象者の増加が見込まれることから、補助制度の維持に向け令和6年度は補助率を7割に見直し。（現行8割 ⇒ R6：7割 ⇒ R7：6割）</p>																																																																													
<p>備 考 (特記事項)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 4 決算</th> <th>R 5 当初</th> <th>R 6 当初</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮津市の平均被保険者数</td> <td>4,158人</td> <td>4,296人(+3.5%)</td> <td>4,299人(+0.1%)</td> </tr> <tr> <td>現年度保険料総額</td> <td>271,473千円</td> <td>279,903千円</td> <td>312,970千円</td> </tr> <tr> <td>1人当たりの保険料</td> <td>65,289円</td> <td>65,154円</td> <td>72,801円</td> </tr> <tr> <td>[参考:府全体被保険者数]</td> <td>392,423人</td> <td>410,517人(+4.6%)</td> <td>426,897人(+4.0%)</td> </tr> <tr> <td>府全体の1人当たり保険料(隔年改定)</td> <td colspan="2">86,421円</td> <td>93,158円</td> </tr> </tbody> </table>					R 4 決算	R 5 当初	R 6 当初	宮津市の平均被保険者数	4,158人	4,296人(+3.5%)	4,299人(+0.1%)	現年度保険料総額	271,473千円	279,903千円	312,970千円	1人当たりの保険料	65,289円	65,154円	72,801円	[参考:府全体被保険者数]	392,423人	410,517人(+4.6%)	426,897人(+4.0%)	府全体の1人当たり保険料(隔年改定)	86,421円		93,158円																																																		
	R 4 決算	R 5 当初	R 6 当初																																																																											
宮津市の平均被保険者数	4,158人	4,296人(+3.5%)	4,299人(+0.1%)																																																																											
現年度保険料総額	271,473千円	279,903千円	312,970千円																																																																											
1人当たりの保険料	65,289円	65,154円	72,801円																																																																											
[参考:府全体被保険者数]	392,423人	410,517人(+4.6%)	426,897人(+4.0%)																																																																											
府全体の1人当たり保険料(隔年改定)	86,421円		93,158円																																																																											
<p>担当部署</p>	<p>市民環境部 税務・国保課 国保年金係</p>						<p>TEL</p>	<p>45-1616</p>	<p>特3</p>																																																																					

会計名等	介護保険事業特別会計			設置目的	介護保険事業の運営を行う。																														
予 算	歳 入			令和6年度	令和5年度	増 減	歳 出																												
	1 保険料			475,230	520,034	△ 44,804	1 総務費																												
	2 使用料及び手数料			21	31	△ 10	2 保険給付費																												
	3 国庫支出金			741,776	734,877	6,899	(項)介護サービス等諸費																												
	4 支払基金交付金			737,706	737,802	△ 96	(項)介護予防サービス等諸費																												
	5 府支出金			422,235	419,776	2,459	3 地域支援事業費																												
	6 財産収入			33	28	5	(項)介護予防・生活支援サービス事業費																												
	7 繰入金			507,180	458,101	49,079	(項)一般介護予防事業費																												
	(項)一般会計繰入金			452,180	458,101	△ 5,921	(項)包括的支援事業・任意事業費																												
	(項)基金繰入金			55,000	0	55,000	4 基金積立金																												
	8 繰越金			1	1	0	5 公債費																												
	9 諸収入			6	6	0	6 諸支出金																												
	合 計			2,884,188	2,870,656	13,532	7 予備費																												
							合 計																												
			2,884,188	2,870,656	13,532																														
予算概要 (予算の特徴)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料 第9期（令和6年度～令和8年度）基準月額6,147円 7.9%減（△525円）（第8期（令和3年度～令和5年度）6,672円）保険料軽減（対象：所得区分第1段階から第3段階まで）を継続して実施。 ・保険給付費 居宅介護サービス給付費、高額介護サービス費の減等により、対前年度比0.1%減。 ・地域支援事業費 包括的支援事業費・任意事業費の増等により、対前年度比6.2%増。 																																		
備考 (特記事項)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>第1号被保険者数</th> <th>要介護等認定者数 (1号)</th> <th>要介護認定率</th> <th>総合事業対象者</th> <th>高齢化率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5.12月末</td> <td>7,089人</td> <td>1,824人(要支援635人、要介護1,189人)</td> <td>25.7%</td> <td>13人</td> <td>43.8%</td> </tr> <tr> <td>R4.12月末</td> <td>7,141人</td> <td>1,847人(要支援665人、要介護1,182人)</td> <td>25.9%</td> <td>16人</td> <td>43.1%</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>△52人 (△0.7%)</td> <td>△23人 (△1.2%)</td> <td>△0.2%</td> <td>△3人</td> <td>+0.7%</td> </tr> </tbody> </table>							第1号被保険者数	要介護等認定者数 (1号)	要介護認定率	総合事業対象者	高齢化率	R5.12月末	7,089人	1,824人(要支援635人、要介護1,189人)	25.7%	13人	43.8%	R4.12月末	7,141人	1,847人(要支援665人、要介護1,182人)	25.9%	16人	43.1%	増減	△52人 (△0.7%)	△23人 (△1.2%)	△0.2%	△3人	+0.7%	<p>【地域支援事業】介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型・通所型サービス、一般介護予防事業など）の実施 地域包括ケアシステム（在宅医療・介護連携の推進、生活支援体制の整備など）の推進 認知症施策（認知症初期集中支援チームによる支援、認知症カフェの運営など）の推進 成年後見支援センターの運営</p>			 	
	第1号被保険者数	要介護等認定者数 (1号)	要介護認定率	総合事業対象者	高齢化率																														
R5.12月末	7,089人	1,824人(要支援635人、要介護1,189人)	25.7%	13人	43.8%																														
R4.12月末	7,141人	1,847人(要支援665人、要介護1,182人)	25.9%	16人	43.1%																														
増減	△52人 (△0.7%)	△23人 (△1.2%)	△0.2%	△3人	+0.7%																														
担当部署	健康福祉部 健康介護課 介護給付係・介護認定係・介護予防係						TEL	45-1619	特 4																										

令和6年3月定例会

令和6年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

会計名等	介護予防支援事業特別会計				設置目的	要支援1、2の認定を受けた者に対するケアプランの作成等を行う。																																											
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 入</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 サービス収入</td> <td>10,723</td> <td>10,787</td> <td>△ 64</td> </tr> <tr> <td>2 繰越金</td> <td>1</td> <td>1,726</td> <td>△ 1,725</td> </tr> <tr> <td>3 諸収入</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>10,725</td> <td>12,514</td> <td>△ 1,789</td> </tr> </tbody> </table>				歳 入	令和6年度	令和5年度	増 減	1 サービス収入	10,723	10,787	△ 64	2 繰越金	1	1,726	△ 1,725	3 諸収入	1	1	0	合 計	10,725	12,514	△ 1,789	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 出</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 総務費</td> <td>1,942</td> <td>7,397</td> <td>△ 5,455</td> </tr> <tr> <td>2 事業費(介護予防支援事業費)</td> <td>8,202</td> <td>4,691</td> <td>3,511</td> </tr> <tr> <td>3 予備費</td> <td>581</td> <td>426</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>10,725</td> <td>12,514</td> <td>△ 1,789</td> </tr> </tbody> </table>				歳 出	令和6年度	令和5年度	増 減	1 総務費	1,942	7,397	△ 5,455	2 事業費(介護予防支援事業費)	8,202	4,691	3,511	3 予備費	581	426	155	合 計	10,725	12,514	△ 1,789	
	歳 入	令和6年度	令和5年度	増 減																																													
	1 サービス収入	10,723	10,787	△ 64																																													
	2 繰越金	1	1,726	△ 1,725																																													
	3 諸収入	1	1	0																																													
	合 計	10,725	12,514	△ 1,789																																													
	歳 出	令和6年度	令和5年度	増 減																																													
	1 総務費	1,942	7,397	△ 5,455																																													
	2 事業費(介護予防支援事業費)	8,202	4,691	3,511																																													
	3 予備費	581	426	155																																													
合 計	10,725	12,514	△ 1,789																																														
予算概要 (予算の特徴)	介護予防サービス利用者やそのケアプラン作成数は前年度並みを見込んでおり、介護予防サービス計画費収入はほぼ横這いと見込む。																																																
備考 (特記事項)	<p>[介護予防ケアプラン作成数(年間)]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R6見込</th> <th>R5見込</th> <th>R4実績</th> <th>R3実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南部圏域 (宮津市包括支援センター)</td> <td>2,421件</td> <td>2,414件</td> <td>2,406件</td> <td>2,270件</td> </tr> <tr> <td>北部圏域 (宮津北部地域包括支援センター)</td> <td>960件</td> <td>957件</td> <td>796件</td> <td>846件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,381件</td> <td>3,371件</td> <td>3,202件</td> <td>3,116件</td> </tr> </tbody> </table>					区分	R6見込	R5見込	R4実績	R3実績	南部圏域 (宮津市包括支援センター)	2,421件	2,414件	2,406件	2,270件	北部圏域 (宮津北部地域包括支援センター)	960件	957件	796件	846件	計	3,381件	3,371件	3,202件	3,116件	<p>[参考:令和5年12月末現在]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象月</th> <th>要支援認定者数</th> <th>要介護認定者数</th> <th>市人口</th> <th>65歳以上人口</th> <th>高齢化率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5.12末</td> <td>635人</td> <td>1,189人</td> <td>16,325人</td> <td>7,156人</td> <td>43.8%</td> </tr> <tr> <td>R4.12末</td> <td>665人</td> <td>1,182人</td> <td>16,721人</td> <td>7,208人</td> <td>43.1%</td> </tr> </tbody> </table>						対象月	要支援認定者数	要介護認定者数	市人口	65歳以上人口	高齢化率	R5.12末	635人	1,189人	16,325人	7,156人	43.8%	R4.12末	665人	1,182人	16,721人	7,208人	43.1%
区分	R6見込	R5見込	R4実績	R3実績																																													
南部圏域 (宮津市包括支援センター)	2,421件	2,414件	2,406件	2,270件																																													
北部圏域 (宮津北部地域包括支援センター)	960件	957件	796件	846件																																													
計	3,381件	3,371件	3,202件	3,116件																																													
対象月	要支援認定者数	要介護認定者数	市人口	65歳以上人口	高齢化率																																												
R5.12末	635人	1,189人	16,325人	7,156人	43.8%																																												
R4.12末	665人	1,182人	16,721人	7,208人	43.1%																																												
担当部署	健康福祉部 健康・介護課 介護予防係				TEL	45-1620	特5																																										



会計名等	休日応急診療所事業特別会計			設置目的	休日応急診療所事業の運営を行う。																																																																														
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 入</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 診療収入</td> <td>8,518</td> <td>5,362</td> <td>3,156</td> </tr> <tr> <td>2 使用料及び手数料(証明手数料)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3 繰入金</td> <td>5,130</td> <td>6,907</td> <td>△ 1,777</td> </tr> <tr> <td>4 繰越金</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5 諸収入(2町分担金)</td> <td>7,319</td> <td>9,750</td> <td>△ 2,431</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>21,668</td> <td>22,720</td> <td>△ 1,052</td> </tr> </tbody> </table>			歳 入	令和6年度	令和5年度	増 減	1 診療収入	8,518	5,362	3,156	2 使用料及び手数料(証明手数料)	1	1	0	3 繰入金	5,130	6,907	△ 1,777	4 繰越金	700	700	0	5 諸収入(2町分担金)	7,319	9,750	△ 2,431	合 計	21,668	22,720	△ 1,052	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 出</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 休日応急診療所費</td> <td>18,629</td> <td>19,681</td> <td>△ 1,052</td> </tr> <tr> <td> 管理医師報酬等</td> <td>1,567</td> <td>1,567</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 休日応急診療所管理運営事業</td> <td>1,539</td> <td>1,449</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td> 出務医師報酬</td> <td>7,064</td> <td>7,109</td> <td>△ 45</td> </tr> <tr> <td> 休日応急診療所診療事業</td> <td>8,459</td> <td>9,556</td> <td>△ 1,097</td> </tr> <tr> <td>2 公債費</td> <td>2,539</td> <td>2,539</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 市債償還元金</td> <td>2,392</td> <td>2,313</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td> 市債利子</td> <td>146</td> <td>225</td> <td>△ 79</td> </tr> <tr> <td> 一時借入金</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3 予備費</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>21,668</td> <td>22,720</td> <td>△ 1,052</td> </tr> </tbody> </table>				歳 出	令和6年度	令和5年度	増 減	1 休日応急診療所費	18,629	19,681	△ 1,052	管理医師報酬等	1,567	1,567	0	休日応急診療所管理運営事業	1,539	1,449	90	出務医師報酬	7,064	7,109	△ 45	休日応急診療所診療事業	8,459	9,556	△ 1,097	2 公債費	2,539	2,539	0	市債償還元金	2,392	2,313	79	市債利子	146	225	△ 79	一時借入金	1	1	0	3 予備費	500	500	0	合 計	21,668	22,720	△ 1,052
	歳 入	令和6年度	令和5年度	増 減																																																																															
	1 診療収入	8,518	5,362	3,156																																																																															
	2 使用料及び手数料(証明手数料)	1	1	0																																																																															
	3 繰入金	5,130	6,907	△ 1,777																																																																															
	4 繰越金	700	700	0																																																																															
	5 諸収入(2町分担金)	7,319	9,750	△ 2,431																																																																															
	合 計	21,668	22,720	△ 1,052																																																																															
	歳 出	令和6年度	令和5年度	増 減																																																																															
	1 休日応急診療所費	18,629	19,681	△ 1,052																																																																															
管理医師報酬等	1,567	1,567	0																																																																																
休日応急診療所管理運営事業	1,539	1,449	90																																																																																
出務医師報酬	7,064	7,109	△ 45																																																																																
休日応急診療所診療事業	8,459	9,556	△ 1,097																																																																																
2 公債費	2,539	2,539	0																																																																																
市債償還元金	2,392	2,313	79																																																																																
市債利子	146	225	△ 79																																																																																
一時借入金	1	1	0																																																																																
3 予備費	500	500	0																																																																																
合 計	21,668	22,720	△ 1,052																																																																																
予算概要 (予算の特徴)	<ul style="list-style-type: none"> ・診療科目…内科、小児科 ・診療医師…一般社団法人与謝医師会に委託(15名の医師が輪番出務) ・看護師…非常勤職員6名(2名ずつ出務) ・医事事務…民間事業者に委託 ・診療日…日曜日、祝日、年末年始(年間72日) ※令和5年度72日 																																																																																		
備考 (特記事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成8年6月から診療開始。休日応急診療所整備に係る起債償還期間は令和7年度まで。 ・休日応急診療所事業費分担金内訳 宮津市…5,130千円、伊根町…976千円、与謝野町…6,343千円 																																																																																		
担当部署	健康福祉部 健康・介護課 健康増進係				TEL	45-1624	特 6																																																																												



令和6年3月定例会

令和6年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

会計名等	財産区特別会計			設置目的	各財産区の円滑な運営を図る。							
予 算	予 算 規 模			主 な 歳 入				主 な 歳 出				
	財 産 区	令和6年度	令和5年度	増 減	項 目	令和6年度	令和5年度	増 減	項 目	令和6年度	令和5年度	増 減
	上宮津財産区	6,011	12,302	△ 6,291	財産収入	3,592	3,592	0	諸費	2,665	8,965	△ 6,300
	由良財産区	292	292	0	財産収入	91	91	0	総務費	64	64	0
	栗田財産区	1,206	1,206	0	財産収入	205	205	0	総務費	279	279	0
	吉津財産区	2,607	2,607	0	財産収入	606	606	0	総務費	362	2,362	△ 2,000
	世屋財産区	152	152	0	財産収入	81	81	0	総務費	43	43	0
	養老財産区	1,022	1,022	0	財産収入	121	121	0	総務費	392	392	0
	日ヶ谷財産区	252	252	0	財産収入	51	51	0	総務費	56	56	0
			11,542	17,833	△ 6,291		4,747	4,747	0		3,861	12,161
予算概要 (予算の特徴)	<上宮津財産区> 自治振興交付金(太陽光発電設置に係る一時金)及び直営林造林事業の終了に伴う減											
備 考 (特記事項)												
担当部署	産業経済部 農林水産課 産業基盤係									TEL	45-1627	特7


会計名等	水道事業会計	設置目的	安全でおいしい水を供給する																																																																																					
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>収益的収入(税込) A</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 営業収益</td> <td>564,279</td> <td>571,903</td> <td>△ 7,624</td> </tr> <tr> <td> 給水収益</td> <td>562,749</td> <td>569,143</td> <td>△ 6,394</td> </tr> <tr> <td>2 営業外収益</td> <td>170,386</td> <td>166,690</td> <td>3,696</td> </tr> <tr> <td> 他会計補助金</td> <td>20,063</td> <td>19,754</td> <td>309</td> </tr> <tr> <td> 長期前受金戻入</td> <td>67,584</td> <td>66,209</td> <td>1,375</td> </tr> <tr> <td> 資本費繰入収益</td> <td>64,435</td> <td>67,610</td> <td>△ 3,175</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>18,304</td> <td>13,117</td> <td>5,187</td> </tr> <tr> <td>3 特別利益</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 合 計</td> <td>734,667</td> <td>738,595</td> <td>△ 3,928</td> </tr> </tbody> </table>			収益的収入(税込) A	令和6年度	令和5年度	比較	1 営業収益	564,279	571,903	△ 7,624	給水収益	562,749	569,143	△ 6,394	2 営業外収益	170,386	166,690	3,696	他会計補助金	20,063	19,754	309	長期前受金戻入	67,584	66,209	1,375	資本費繰入収益	64,435	67,610	△ 3,175	その他	18,304	13,117	5,187	3 特別利益	2	2	0	合 計	734,667	738,595	△ 3,928	<table border="1"> <thead> <tr> <th>収益的支出(税込) B</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 営業費用</td> <td>637,338</td> <td>591,274</td> <td>46,064</td> </tr> <tr> <td> 原水及び浄水費</td> <td>192,295</td> <td>189,236</td> <td>3,059</td> </tr> <tr> <td> 総係費</td> <td>101,824</td> <td>76,128</td> <td>25,696</td> </tr> <tr> <td> 減価償却費</td> <td>276,793</td> <td>267,562</td> <td>9,231</td> </tr> <tr> <td>2 営業外費用</td> <td>45,053</td> <td>48,961</td> <td>△ 3,908</td> </tr> <tr> <td> 支払利息</td> <td>43,797</td> <td>44,997</td> <td>△ 1,200</td> </tr> <tr> <td>3 特別損失</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>4 予備費</td> <td>6,000</td> <td>6,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 合 計</td> <td>688,393</td> <td>646,237</td> <td>42,156</td> </tr> </tbody> </table>					収益的支出(税込) B	令和6年度	令和5年度	比較	1 営業費用	637,338	591,274	46,064	原水及び浄水費	192,295	189,236	3,059	総係費	101,824	76,128	25,696	減価償却費	276,793	267,562	9,231	2 営業外費用	45,053	48,961	△ 3,908	支払利息	43,797	44,997	△ 1,200	3 特別損失	2	2	0	4 予備費	6,000	6,000	0	合 計	688,393	646,237	42,156
	収益的収入(税込) A	令和6年度	令和5年度	比較																																																																																				
	1 営業収益	564,279	571,903	△ 7,624																																																																																				
	給水収益	562,749	569,143	△ 6,394																																																																																				
	2 営業外収益	170,386	166,690	3,696																																																																																				
	他会計補助金	20,063	19,754	309																																																																																				
	長期前受金戻入	67,584	66,209	1,375																																																																																				
	資本費繰入収益	64,435	67,610	△ 3,175																																																																																				
	その他	18,304	13,117	5,187																																																																																				
	3 特別利益	2	2	0																																																																																				
	合 計	734,667	738,595	△ 3,928																																																																																				
	収益的支出(税込) B	令和6年度	令和5年度	比較																																																																																				
	1 営業費用	637,338	591,274	46,064																																																																																				
	原水及び浄水費	192,295	189,236	3,059																																																																																				
	総係費	101,824	76,128	25,696																																																																																				
減価償却費	276,793	267,562	9,231																																																																																					
2 営業外費用	45,053	48,961	△ 3,908																																																																																					
支払利息	43,797	44,997	△ 1,200																																																																																					
3 特別損失	2	2	0																																																																																					
4 予備費	6,000	6,000	0																																																																																					
合 計	688,393	646,237	42,156																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>資本的収入(税込) C</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 企業債</td> <td>361,700</td> <td>373,100</td> <td>△ 11,400</td> </tr> <tr> <td>2 加入負担金</td> <td>3,737</td> <td>3,300</td> <td>437</td> </tr> <tr> <td>3 出資金</td> <td>1,099</td> <td>1,101</td> <td>△ 2</td> </tr> <tr> <td>4 国庫補助金</td> <td>65,109</td> <td>40,133</td> <td>24,976</td> </tr> <tr> <td>5 その他</td> <td>9,300</td> <td>0</td> <td>9,300</td> </tr> <tr> <td> 合 計</td> <td>440,945</td> <td>417,634</td> <td>23,311</td> </tr> </tbody> </table>			資本的収入(税込) C	令和6年度	令和5年度	比較	1 企業債	361,700	373,100	△ 11,400	2 加入負担金	3,737	3,300	437	3 出資金	1,099	1,101	△ 2	4 国庫補助金	65,109	40,133	24,976	5 その他	9,300	0	9,300	合 計	440,945	417,634	23,311	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資本的支出(税込) D</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 建設改良費</td> <td>466,406</td> <td>442,577</td> <td>23,829</td> </tr> <tr> <td> 拡張改良費</td> <td>258,216</td> <td>223,878</td> <td>34,338</td> </tr> <tr> <td> 浄水場整備費</td> <td>189,860</td> <td>208,300</td> <td>△ 18,440</td> </tr> <tr> <td>2 企業債償還金</td> <td>238,299</td> <td>249,027</td> <td>△ 10,728</td> </tr> <tr> <td>3 その他・予備費</td> <td>1,000</td> <td>1,573</td> <td>△ 573</td> </tr> <tr> <td> 合 計</td> <td>705,705</td> <td>693,177</td> <td>12,528</td> </tr> </tbody> </table>					資本的支出(税込) D	令和6年度	令和5年度	比較	1 建設改良費	466,406	442,577	23,829	拡張改良費	258,216	223,878	34,338	浄水場整備費	189,860	208,300	△ 18,440	2 企業債償還金	238,299	249,027	△ 10,728	3 その他・予備費	1,000	1,573	△ 573	合 計	705,705	693,177	12,528																									
資本的収入(税込) C	令和6年度	令和5年度	比較																																																																																					
1 企業債	361,700	373,100	△ 11,400																																																																																					
2 加入負担金	3,737	3,300	437																																																																																					
3 出資金	1,099	1,101	△ 2																																																																																					
4 国庫補助金	65,109	40,133	24,976																																																																																					
5 その他	9,300	0	9,300																																																																																					
合 計	440,945	417,634	23,311																																																																																					
資本的支出(税込) D	令和6年度	令和5年度	比較																																																																																					
1 建設改良費	466,406	442,577	23,829																																																																																					
拡張改良費	258,216	223,878	34,338																																																																																					
浄水場整備費	189,860	208,300	△ 18,440																																																																																					
2 企業債償還金	238,299	249,027	△ 10,728																																																																																					
3 その他・予備費	1,000	1,573	△ 573																																																																																					
合 計	705,705	693,177	12,528																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益的収支差引 A-B</td> <td>46,274</td> <td>92,358</td> <td>△ 46,084</td> </tr> <tr> <td>資本的収支差引 C-D</td> <td>△ 264,760</td> <td>△ 275,543</td> <td>10,783</td> </tr> </tbody> </table>				令和6年度	令和5年度	比較	収益的収支差引 A-B	46,274	92,358	△ 46,084	資本的収支差引 C-D	△ 264,760	△ 275,543	10,783																																																																										
	令和6年度	令和5年度	比較																																																																																					
収益的収支差引 A-B	46,274	92,358	△ 46,084																																																																																					
資本的収支差引 C-D	△ 264,760	△ 275,543	10,783																																																																																					
予算概要	<p>【3条予算(収益的収支)】 収入:給水人口減等の影響による有収水量の減少を見込み、総額で前年度比3,928千円の減となる734,667千円 支出:宮津市水道事業ビジョンの中間見直しに係る委託料や減価償却費などの増加を見込み、総額で前年度比42,156千円の増となる688,393千円 収支差引額は46,274千円の黒字</p> <p>【4条予算(資本的収支)】 与謝野町との水道緊急連絡管の整備や神子川河川改修(京都府)に伴う配水管布設替、IoTを活用した遠隔監視、遠隔操作システム整備の継続等により、収支差引額は264,760千円の不足</p>																																																																																							
備 考	<p>○宮津市水道事業ビジョンに基づき水道事業経営の審議を実施 ○宮津市・与謝野町災害等緊急時における水の相互融通に関する協定書の締結(R6.4.1予定)</p>																																																																																							
担当部署	建設部 上下水道課 管理係					TEL	45-1635	特8																																																																																



令和6年3月定例会

令和6年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

会計名等	下水道事業会計	設置目的	公共用水域の水質の保全と生活環境の向上を図る。																																																																																			
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>収益的収入(税込) A</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 営業収益</td> <td>347,001</td> <td>305,808</td> <td>41,193</td> </tr> <tr> <td> 下水道使用料</td> <td>346,573</td> <td>305,385</td> <td>41,188</td> </tr> <tr> <td>2 営業外収益</td> <td>615,195</td> <td>612,747</td> <td>2,448</td> </tr> <tr> <td> 他会計補助金</td> <td>416,117</td> <td>415,899</td> <td>218</td> </tr> <tr> <td> 国庫補助金</td> <td>2,500</td> <td>2,500</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 長期前受金戻入</td> <td>195,190</td> <td>192,251</td> <td>2,939</td> </tr> <tr> <td> 資本費繰入収益</td> <td>1,245</td> <td>1,343</td> <td>△ 98</td> </tr> <tr> <td>3 特別利益</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>962,198</td> <td>918,557</td> <td>43,641</td> </tr> </tbody> </table>			収益的収入(税込) A	令和6年度	令和5年度	比較	1 営業収益	347,001	305,808	41,193	下水道使用料	346,573	305,385	41,188	2 営業外収益	615,195	612,747	2,448	他会計補助金	416,117	415,899	218	国庫補助金	2,500	2,500	0	長期前受金戻入	195,190	192,251	2,939	資本費繰入収益	1,245	1,343	△ 98	3 特別利益	2	2	0	合 計	962,198	918,557	43,641	<table border="1"> <thead> <tr> <th>収益的支出(税込) B</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 営業費用</td> <td>812,324</td> <td>842,802</td> <td>△ 30,478</td> </tr> <tr> <td> 管渠費</td> <td>14,832</td> <td>16,306</td> <td>△ 1,474</td> </tr> <tr> <td> ポンプ場費</td> <td>18,651</td> <td>18,330</td> <td>321</td> </tr> <tr> <td> 流域下水道維持管理費</td> <td>302,558</td> <td>332,475</td> <td>△ 29,917</td> </tr> <tr> <td> 減価償却費</td> <td>447,243</td> <td>446,826</td> <td>417</td> </tr> <tr> <td>2 営業外費用</td> <td>84,741</td> <td>85,463</td> <td>△ 722</td> </tr> <tr> <td> 支払利息</td> <td>76,671</td> <td>85,393</td> <td>△ 8,722</td> </tr> <tr> <td>3 特別損失・予備費</td> <td>6,002</td> <td>6,002</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>903,067</td> <td>934,267</td> <td>△ 31,200</td> </tr> </tbody> </table>			収益的支出(税込) B	令和6年度	令和5年度	比較	1 営業費用	812,324	842,802	△ 30,478	管渠費	14,832	16,306	△ 1,474	ポンプ場費	18,651	18,330	321	流域下水道維持管理費	302,558	332,475	△ 29,917	減価償却費	447,243	446,826	417	2 営業外費用	84,741	85,463	△ 722	支払利息	76,671	85,393	△ 8,722	3 特別損失・予備費	6,002	6,002	0	合 計	903,067	934,267	△ 31,200
	収益的収入(税込) A	令和6年度	令和5年度	比較																																																																																		
	1 営業収益	347,001	305,808	41,193																																																																																		
	下水道使用料	346,573	305,385	41,188																																																																																		
	2 営業外収益	615,195	612,747	2,448																																																																																		
	他会計補助金	416,117	415,899	218																																																																																		
	国庫補助金	2,500	2,500	0																																																																																		
	長期前受金戻入	195,190	192,251	2,939																																																																																		
	資本費繰入収益	1,245	1,343	△ 98																																																																																		
	3 特別利益	2	2	0																																																																																		
合 計	962,198	918,557	43,641																																																																																			
収益的支出(税込) B	令和6年度	令和5年度	比較																																																																																			
1 営業費用	812,324	842,802	△ 30,478																																																																																			
管渠費	14,832	16,306	△ 1,474																																																																																			
ポンプ場費	18,651	18,330	321																																																																																			
流域下水道維持管理費	302,558	332,475	△ 29,917																																																																																			
減価償却費	447,243	446,826	417																																																																																			
2 営業外費用	84,741	85,463	△ 722																																																																																			
支払利息	76,671	85,393	△ 8,722																																																																																			
3 特別損失・予備費	6,002	6,002	0																																																																																			
合 計	903,067	934,267	△ 31,200																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>資本的収入(税込) C</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 企業債</td> <td>246,300</td> <td>301,800</td> <td>△ 55,500</td> </tr> <tr> <td>2 負担金</td> <td>6,871</td> <td>6,302</td> <td>569</td> </tr> <tr> <td>3 他会計補助金</td> <td>142,381</td> <td>138,002</td> <td>4,379</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>395,552</td> <td>446,104</td> <td>△ 50,552</td> </tr> </tbody> </table>			資本的収入(税込) C	令和6年度	令和5年度	比較	1 企業債	246,300	301,800	△ 55,500	2 負担金	6,871	6,302	569	3 他会計補助金	142,381	138,002	4,379	合 計	395,552	446,104	△ 50,552	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資本的支出(税込) D</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 建設改良費</td> <td>86,546</td> <td>96,575</td> <td>△ 10,029</td> </tr> <tr> <td> 公共下水道費</td> <td>34,697</td> <td>46,810</td> <td>△ 12,113</td> </tr> <tr> <td> 流域下水道費</td> <td>51,849</td> <td>49,765</td> <td>2,084</td> </tr> <tr> <td>2 企業債償還金・他会計借入金償還金</td> <td>659,137</td> <td>687,398</td> <td>△ 28,261</td> </tr> <tr> <td>3 予備費</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>746,683</td> <td>784,973</td> <td>△ 38,290</td> </tr> </tbody> </table>			資本的支出(税込) D	令和6年度	令和5年度	比較	1 建設改良費	86,546	96,575	△ 10,029	公共下水道費	34,697	46,810	△ 12,113	流域下水道費	51,849	49,765	2,084	2 企業債償還金・他会計借入金償還金	659,137	687,398	△ 28,261	3 予備費	1,000	1,000	0	合 計	746,683	784,973	△ 38,290																																	
資本的収入(税込) C	令和6年度	令和5年度	比較																																																																																			
1 企業債	246,300	301,800	△ 55,500																																																																																			
2 負担金	6,871	6,302	569																																																																																			
3 他会計補助金	142,381	138,002	4,379																																																																																			
合 計	395,552	446,104	△ 50,552																																																																																			
資本的支出(税込) D	令和6年度	令和5年度	比較																																																																																			
1 建設改良費	86,546	96,575	△ 10,029																																																																																			
公共下水道費	34,697	46,810	△ 12,113																																																																																			
流域下水道費	51,849	49,765	2,084																																																																																			
2 企業債償還金・他会計借入金償還金	659,137	687,398	△ 28,261																																																																																			
3 予備費	1,000	1,000	0																																																																																			
合 計	746,683	784,973	△ 38,290																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益的収支差引 A-B</td> <td>59,131</td> <td>△ 15,710</td> <td>74,841</td> </tr> <tr> <td>資本的収支差引 C-D</td> <td>△ 351,131</td> <td>△ 338,869</td> <td>△ 12,262</td> </tr> </tbody> </table>				令和6年度	令和5年度	比較	収益的収支差引 A-B	59,131	△ 15,710	74,841	資本的収支差引 C-D	△ 351,131	△ 338,869	△ 12,262	<p>○収益的支出に充当する借入金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資本費平準化債(利子分)</td> <td>41,500</td> <td>42,200</td> <td>△ 700</td> </tr> </tbody> </table>				令和6年度	令和5年度	比較	資本費平準化債(利子分)	41,500	42,200	△ 700																																																													
	令和6年度	令和5年度	比較																																																																																			
収益的収支差引 A-B	59,131	△ 15,710	74,841																																																																																			
資本的収支差引 C-D	△ 351,131	△ 338,869	△ 12,262																																																																																			
	令和6年度	令和5年度	比較																																																																																			
資本費平準化債(利子分)	41,500	42,200	△ 700																																																																																			
予算概要	<p>【3条予算(収益的収支)】 収入：令和5年10月からの料金改定により、下水道使用料は前年度比で41,188千円の増となる346,573千円、総額で前年度比43,641千円の増となる962,198千円 支出：流域下水道維持管理費や支払利息の減を見込み、総額で前年度比31,200千円の減となる903,067千円 収支差引額は、59,131千円の黒字</p> <p>【4条予算(資本的収支)】 滝馬川河川改修に伴う下水道管の移設及び府中第1処理分区の管渠整備等により、収支差引額は351,131千円の不足</p>																																																																																					
備考																																																																																						
担当部署	建設部 上下水道課 管理係			TEL	45-1635	特9																																																																																